

御意見の概要と本市の考え方

(区分)

(1) 計画策定に反映, 又は骨子に記載済み, 内容に賛同する等の御意見

① 御意見の内容・趣旨を, 後期実施計画(案)に反映しているもの

② 御意見の内容・趣旨が後期実施計画(骨子)に含まれているもの, 又は骨子の内容に賛同・期待・協力する等の御意見であり, いただいた御意見を踏まえて計画を推進するもの

(2) 参考にさせていただく御意見

③ 多様な観点からの御意見として今後の参考にさせていただくもの

1 計画策定の考え方や財政運営に関するもの

21 件

1	6つの未来像はどれも大切であり, これを市民も共感し, 実践してもらいたい。	②
2	後期実施計画と京都創生総合戦略の関係を表した図が分かりにくい。	③
3	「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略を包含している後期実施計画を策定する必要があるのか疑問。	③
4	行政経営の大綱は, ややもすれば上から目線, 押しつけという, 市民との立場の違いを際立たせるものになる危険がある。	③
5	5～6ページについて, ゴシックや下線が多いため, 読みにくい。	③
6	5ページで完全失業率が目標を達成しているとあるが, 非正規雇用が増大しているのに「失業」ではないと評価することは疑問がある。	③
7	経済の活性化や防災・減災, 人口減少対策は一筋縄にはいかない問題だが, 市民, 事業者と協働してしっかり取り組んでほしい。	②
8	7～8ページについて, 文字ばかりで何が書いてあるのかわからない。	③
9	総人件費の削減 民間委託化は, 経済的側面だけではなく, 市民として安心できる福祉サービスの提供という観点も考える必要がある。	③
10	福祉関連経費はもはやギリギリまで削減されている。むしろ, 福祉に手厚いという姿勢を示すことで, 安心感を醸成し, 消費を促す効果があるはずである。	③
11	ネーミングライツ, 寄付を集めるのはいいとして, 土地は地域活性化のために有効活用すべきであり, 目先の売却益のために利用すべきでない。	③
12	これ以上, 市の借金をすべきでない。未来が心配。	①
13	一刻も早く特別の財源対策から脱却することを明確化してもらいたい。	①
14	後期計画の目標として, 特別の財源対策からの完全な脱却を宣言してもらいたい。	①
15	後期実施計画期間中に特別の財源対策に依存しない財政を確立することを明確に示してほしい。	①

16	「持続可能な行財政の確立」は自立した行財政を持続してほしい。	①
17	業界団体へのバラマキ政策で持続可能な行財政の確立ができるのか疑問。市民が直接便益を実感できることに予算を費やしてもらいたい。	②
18	限られた財源と人員の中で、今後も京都市の発展に向けたような事業を進めていく必要があるため、必要な事業の見極めが必要。	②
19	市の財政状況を考えると、新たな施策やリニューアルしただけの施策を新規施策として行う現状は見直すべき。	③
20	似たような事業やリニューアルしただけの事業、一部の人にしか恩恵がない事業はもっと絞って、市民が必要としている事業に重点的に配分すべきではないか。	③
21	まず考慮すべきは財政の収支の構想。民力は税財源と市民の活力と資産（有形・無形）のため、総花的なばらまきではなく、事業経費は順番と経年計画を組み合わせで低減する。中止にはできないにしろ再検討、再調整できるはず。	③

2 政策編に関するもの

896 件

(1) 低炭素・循環型まちづくり戦略

65 件

① 低炭素・循環型まちづくり戦略全般（12 件）		
1	低炭素・循環型まちづくり戦略の取組に賛同する。	②
2	COP21 での温暖化対策の新たな枠組み「パリ協定」が採択されたことを踏まえ、これまで京都市が取り組んできた低炭素社会実現のための取組を、主に海外の途上国に対して提供していくことを目指してほしい。	①
3	京都が成果を上げることで他地域にも環境対策を広めることができる。	②
4	「DO YOU KYOTO?」を若い世代の人々にも伝わるように推進してほしい。	②
5	「DO YOU KYOTO?」の推進を通じた環境に優しいライフスタイルへの転換が果たして上手くいくのかという不安がある。	③
6	「DO YOU KYOTO?」はターゲットが不明である。	③
7	原子力発電に依存しない持続可能なエネルギー社会の構築に向けて、原発の再稼働に明確に反対し、脱原発をめざす首長会議に加わり、政府に脱原発を発信するべきではないか。	③
8	排出ガス削減を進めてほしい。	②
9	地球規模の温暖化対策は国が担うべきものであり、京都市は市内のヒートアイランド対策に重点的に取り組むべきである。	③
10	共汗指標の記載について、T J に代えて一般家庭のエネルギー消費何軒分と表記すべきである。又は、注釈の記載に補記すべきである。	①
11	低炭素都市の創出のために脱自動車依存を目指すライフスタイルの創出が不可欠であり、「公共交通を有効利用した歩いてくらせるコンパクトな都市づくり」を「低炭素・循環型まちづくり戦略」に記載すべき。	②
12	重点戦略「低炭素・循環型まちづくり戦略」に、自転車利用のメリットを記述すべき。	②
② 省エネルギー（7 件）		
13	京都ならではの新築住宅の省エネ化とあるが、マンションの省エネ化の方が大事では。	②
14	大衆浴場の利用を促すことにより、社会全体のエネルギー消費量を減らせるのでは。	③
15	「京都の気候や風土に適した伝統的木造住宅の省エネ基準を設定する」とあるがどの程度守らないといけないかわからない。	③
16	京町家という京都の伝統を活かしながら、省エネに取り組むことができれば理想的。	②
17	木製二重サッシのデータをまとめられないか。	③
18	少し厚めの下着の方が健康には良くて冬の寒さもやわらぐ。	③
19	パネル製造と廃棄時の電力や有害物質を考えると、太陽光発電よりも太陽熱利用の方が省エネではないか。	③

③ 再生可能エネルギー（4件）		
20	燃料電池自動車のカーシェアリングを実施しているが、価格が高く、予約待ちが1年以上もあるため、ムダである。	③
21	家庭用燃料電池や水素社会に向けた技術開発ではなく、蹴上の水力再生など、今あるもので活用してはどうか。また、今の生活は、大量の化学物質を消費しているため、化学物質を減らすことを考えてはどうか。	③
22	ペレットストーブは煙の苦情が出ると聞いたことがあるが、二度燃焼させるタイプのストーブで、煙突がしっかりすれば、住宅地でも問題ないケースをオープンハウスで見た。補助金がついているので、そのことを伝え、バイオマス利用の普及につなげられないか。	③
23	食糧加工残さの活用や、木くず、農業系廃棄物のバイオマスペレットへの活用をしてはどうか。	②
④ ごみ分別リサイクル（11件）		
24	雑がみの分別が進んでいないので、市が収集すればもっとみんなが協力するのではないかな。また、事業所系ゴミの分別をもっと呼びかける必要がある。	②
25	ゴミの分別が雑で分かりにくい。資源回収を地区ごとに行っていけばよい。	②
26	ごみの分別をしない方がむしろエコであるという話もあるので、十分に考えて進めてほしい。	③
27	リサイクル率向上のため、資源ゴミの購買時に税金を払わせ、リサイクルする際に還元するのはどうか。	③
28	区役所前の蛍光灯や乾電池などのリサイクルコーナーについて、勤め人も使えるように土日祝も開けてはどうか。	③
29	スーパーにリサイクルできるものを持ってきた方にポイントや割引きをするなど、自分に利益がないと自発的な行動に移さないのではないかな。	③
30	古着のリサイクルを充実してほしい。リサイクルの取組を市民しんぶんで告知してほしい。ゴミの分別が徹底されていない。分別の告知がわかりにくい。	②
31	古着等を行政が回収していただけるとありがたい。	②
32	大量の未使用タオルなどを古紙回収として処理するだけでなく、引き取っていただける福祉施設などのリストがあればいいと思う。	③
33	ごみ出しのルールについて不動産業者に徹底指導をお願いしたい。	②
34	古紙をスーパーなどで毎日回収してほしい。	③
⑤ 2Rの推進（3件）		
35	レジ袋削減が進んでいるが、オイルを産出しない国が他国の資源を使い捨てているのはおかしい。発泡トレーも天然素材に切り替えてほしい。	③
36	リデュース（ごみの発生抑制）とリユース（資源の再使用）について、本当に浸透しているのか疑問であるため、継続してPRすべき。	②

37	ゴミ減少について、市民の目に付くような数字でこまめに広報することにより、実践率は上がると思う。	②
⑥ 散乱ごみ対策（12 件）		
38	ゴミを捨てる所が道なのでゴミ箱が必要。	③
39	駅や公共施設のゴミ箱をテロ対策の一環として撤去し、利便性を低下させるのではなく、抑止策を講じたうえで設置し、暮らしやすい、訪問しやすいまちづくりをする必要がある。	③
40	道にゴミ箱が少ないので多く設置してほしい。	③
41	ポイ捨てされるのはゴミ箱がないからであり、たくさんのゴミ箱を設置してほしい。	③
42	ポイ捨てをしないよう呼びかけることが大事だと思う。	③
43	道端にゴミが落ちているのをよく見かけるため、ゴミを分別したりゴミ箱に入れるように呼びかけてほしい。	③
44	仁和寺の横の原谷へ上がる道にゴミがたくさん落ちており、キレイにするべき。様々な新しいことをすると共に市民が住んでいるまわりをキレイにしてほしい。	③
45	ゴミのポイ捨てを警察と連携して取り締まれないか。	③
46	道や道路沿いのゴミがよく目立っている。もっと地域ごとにボランティアを増やして、ゴミ拾いなど、町をきれいにする活動をしたらいいと思う。	③
47	外国人観光客が増え、地域の散乱ゴミが多くなったので、危険であれば、中の見える網のゴミ箱を増やすことはできないか。	③
48	西大路通以西等ではたばこのポイ捨てが多い。	③
49	ごみ問題に関しては、市民だけでなく観光客を対象とした環境政策の実施が必要ではないか。	②
⑦ 騒音・振動・大気汚染その他（3 件）		
50	大型トラックやバスなどの振動と騒音を改善してほしい。	③
51	外国人観光客が京都市のクリーンセンターの観光をすることにより、PM2.5を減らせないか。	③
52	回収日の増加や1日に2度回収時間を設けるなど、市民の生活時間に合わせたごみ回収を行ってほしい。	③
⑧ 街路樹の充実（4 件）		
53	街路樹を美しく育てて美しい街並みを作ってほしい。下の枝を落として見通しを良くして上は伸ばして美しい自然さを感じられる樹形をつくる。植樹の際に20年後を想定した樹の種類や間隔で植える。	②
54	「京の街路樹サポーター制度」の普及・啓発推進が必要。	②
55	街路樹並木の育成管理を追加してほしい。	②
56	歩いて楽しく思えるのは、季節の移ろいを感じながら歩くことであり、規則正しい等間隔の植栽も良いが、京都の伝統的な庭園風の針葉樹、花木、紅葉落葉樹を組み合わせた植栽も公共空間で行ってほしい。	②

⑨ 公園の整備（6件）		
57	公園の道具が楽しくない。公園も少ない。	②
58	児童公園の遊具などの計画やバリアフリー化は計画にないのか。	②
59	地域の公園が手狭になっており、施設も老朽化しているため、整備が必要。	②
60	運動できる公園がほしい。	②
61	市内に身体機能を向上させるような公園が少ない。	②
62	公園に、健康によい器具をもっと設置してほしい。	②
⑩ 緑視環境その他（3件）		
63	市内に田園地域が少ない。	②
64	街中に緑が増えてきた。これからも増やしてほしい。	②
65	緑視環境について 草の根運動として、苔玉づくりを提案する。京都市には、場所の提供と広報を依頼したい。2回目からは、有志を募り、活動が続けて行きたい。	③

① 歩いて楽しいまち・京都戦略全般（9 件）		
1	歩いて楽しいまち・京都戦略にマイカーよりも公共交通優先を掲げていることは多くのメリットがある。歩くまち・京都を推進する取組も非常に興味深い。	②
2	「歩いて楽しい京都戦略」は京都市の魅力向上につながると思うので、積極的に進めてほしい。	②
3	歩いて楽しいまちという戦略はとても良い。京都というまちの良さを、より身をもって感じることができるのは実際に歩いて見て回ることである。	②
4	「歩くまち・京都」は、その概念や都市の将来像を市民に周知できなかった。NPO 等の主催により開催されている「京都カーフリーデー」は都市交通のあり方や環境問題をテーマとする、とても素晴らしい取組である。京都市として積極的に連携や協力関係を強くし、広く「歩くまち京都」を周知すべき。	③
5	バスや地下鉄等、十分充実していると思うが、バスが遅れて来たり、観光シーズンには満員になったり、運転が荒く、お年寄りや子どもを連れた人にとっては利用しにくい場合も考えられる。また最近ではお年寄りでも軽快に自転車に乗っている人も多いため自転車専用道路が増えて安全に乗ることができれば、自動車の利用が減り、より低炭素社会につながるのではないかと。その分観光客にはバスや地下鉄の利用が増えるため、もっと分かりやすい地図の表示や路線図があると良い。四条通の歩道が拡幅され、非常に歩きやすい街になったが、バスやタクシーの渋滞で今まで以上に時間がかかってしまい、少し不便になった。そのため、今以上にバスやタクシー専用レーンの整備が必要。	③
6	「歩いて楽しいまち・京都戦略」はぜひとも早急に推進してもらいたい。京都の大通りと呼ばれる道はいつも車で飽和しているため、事故のリスクは高まり、公共交通機関であるバスは定刻通りに目的地に到着できないケースが多い。時間帯による公共交通機関の棲み分けを行えないか。地下鉄はラッシュ時を過ぎると空席も目立つため、この時間帯に観光客たちに地下鉄を使用してもらうことで地上の混雑は解消されるはず。朝の時間はバスやタクシーなど地上の交通機関を利用してもらう。また、道路が基盤の目に走る京都ならではの地理を生かし、隣の道を歩くようにしてはどうか。	③
7	「歩いて楽しいまち・京都」のコンセプトは先進的で優れたものだが、マイカーにとって代わる公共交通機関の拡充が急務。便数の増加だけでなく、料金の値下げや新たな駅の建設、他の市への公共交通の整備の充実により人を分散させ、自転車道の拡充や交通マナーの徹底などにより人の過密を解消することが必要。	②
8	駐車場を運営管理する事業者であるが、指定管理者制度の導入の更なる推進及び導入施設のサービス向上に向けた取組について、以下のことをお願いしたい。 ① 民間ノウハウを最大限に活用する為の利用料金制の導入 ② 多種多様な精算方法（クレジットカード、ＩＣカード、電子マネー等）を導入し、利便性向上を図る。 ③ 市営駐車場にパーク＆ライドの仕組みを導入 ④ パーク＆ライドの仕組みを活用し、京都市内の観光にレンタルサイクルの積極的な運用を実現	③

9	「歩いて楽しいまち」を作るには、地下鉄だけでは交通網が不足している。また、バスの乗車時間が長いことや混雑していることも問題ではないか。	②
② 市バス・地下鉄の路線・ダイヤの充実 (29 件)		
10	市バス・地下鉄の終バス・終電時間を延長してほしい。	②
11	バスの増便・パターン化・等間隔発車化を盛り込んでほしい。	②
12	夕方のラッシュ以降時間帯の地下鉄・市バスの増便を盛り込んでほしい。	③
13	深夜の市バスの本数・ルートを増やしてほしい。	②
14	終バスが早すぎる。	②
15	乗り間違いを防ぐため、繁華街では市バスの路線や本数の削減が必要。	③
16	乗客の多い市バスの路線は、本数を増やしてほしい。	②
17	市バスがまだ少ない。	②
18	バスのダイヤを増やしてほしい。	②
19	市バスの本数を増やしてほしい。	②
20	市バスの本数を増やしてほしい。	②
21	山科でも市バスの運行をしてほしい。	③
22	MN 系統とそれ以外の系統の間にバスの本数を確保し、多少遅くなくても安心してバスで帰れるという信頼感の醸成が重要である。	②
23	バスの運行本数を増やしてほしい。	②
24	市バスの運行ダイヤを守ってほしい。	②
25	202 系統の本数が少なく、また予定の時間に来ない。九条車庫での運転手の交代について、時間短縮してほしい。入庫のタイミングや表示がないのが不便である。	②
26	バスが定刻より遅れる。	②
27	市バスの路線を拡大してほしい。	②
28	バスをもっと小型化して、本数を増やすようにすれば、円滑に流れると思う。	②
29	地下鉄の路線を広げれば、更に便利になる。	③
30	地下鉄の環状線を作ってほしい。	③
31	京都市の北側にも地下鉄を通してほしい。	③
32	地下鉄を洛西まで通してほしい。	③
33	洛西ニュータウンの再開発には高速鉄道施設が必要。地下鉄東西線の延伸を再度長期計画に入れるべき。	③
34	西大路通にも地下鉄を通してほしい。	③
35	地下鉄の運行本数を増やしてほしい。運行本数はそのままとしても、混雑する時間帯の増便はしてほしい。	②
36	地下鉄の終電を毎日遅くしてほしい。	③
37	地下鉄の終電を延ばしてほしい。	③
38	地下鉄を週に何日か 24 時間営業にしてほしい。	③

③ 市バス・地下鉄の料金制度（25 件）		
39	市バスを料金先払い制にすべき。	③
40	バス等の小学生料金を年齢制にすべき。	③
41	市内全域，バス料金を統一してほしい。	③
42	地下鉄の定期代が高いので安くしてほしい。	③
43	私鉄との乗継割引を行い，地下鉄の料金を値下げしてほしい。	③
44	地下鉄の料金が安い。	③
45	地下鉄料金が安い。	③
46	公共交通機関，特に地下鉄の運賃が高すぎる。	③
47	地下鉄の運賃が高すぎる。	③
48	地下鉄の運賃の値下げをすれば，30 年度の目標値である旅客数 37.5 万人を達成することができる。	③
49	学生定期をもう少し安くするなど，通学しやすい環境を整えてほしい。	③
50	地下鉄は利用者が増えて，多少料金を下げることができれば歩く人は必ず増える。	③
51	他の公共交通機関に比べて，地下鉄運賃が高いので，曜日や特定の日で割引するようになり，外国人観光客には 1 日乗車券を半額にしてはどうか。	③
52	地下鉄の旅客数を増やすことを目標としている割には，料金が安い。	③
53	地下鉄は初乗り運賃が日本一高い。地下鉄の駅のトイレなどの設備も汚いし観光やビジネスの都市として発展していくならば，利用環境にも目を向けるべき。	②
54	京都府民を対象に，地下鉄の割引等をしてほしい。	③
55	学生の電車の運賃を安くしてほしい。	③
56	バスの I C カードサービスを拡大すべき。	①
57	トラフィカカードのように，I C カード等でも市バス間や地下鉄との乗り継ぎに優遇措置をすることで，利用者の増加が図れないか。	①
58	市バス・地下鉄の共通 1 日券を 600 円に抑える。地下鉄運賃の値下げをすれば間違いなく乗客増になる。	③
59	市営地下鉄の定期券を I C 化してほしい。	①
60	I C 定期券について，地下鉄では他の事業者に比べて導入が遅れているため，可能な限り前倒しで導入すべきである。また，敬老証・福祉証も I C 化を行えば利用実態を把握でき，「実乗車分だけ負担」に転換し，ゆくゆくは市内全電車・全バスに利用を拡大，民営バスと重複する系統を整理すれば，長期的にはコスト減に繋がる。	②
61	大阪市交通局などが実施しているように I C カードの乗継割引をしてほしい。	①
62	渋滞に強い「歩くまち・京都レールきっぷ」を通年利用できるようにしてほしい。	③
63	夜間に入浴したばかりでその日は宿泊するだけの短期滞在の外国人には，1 日乗車券や I C 乗車券より 1 回 230 円の切符のバラ売りのほうがよいのではないか。京都駅前バス停の券売機でもこの需要に対応させてはどうか。	③

④ 市バス・地下鉄のバリアフリー、ユニバーサルデザイン（20件）		
64	御陵駅の改札口が東側に偏っており、日ノ岡方面からは遠回りである。また、コンコース階では地上へのエレベーターとホームへのエレベーターの両者の間にガラスの壁があるせいで、車いすやベビーカーの使い勝手が悪い。そのため、改札機を日ノ岡側の地上へのエレベーターそばに移設すれば改善される。	③
65	環境が整っていない地下鉄駅構内では、商業施設を拡充しても人々の通行に支障をきたしかねないため、左側通行を徹底したり、車いすを利用する方が通行しやすいようにスペースを設けるべきではないか。	②
66	市営地下鉄の特に遅延、運行見合わせ時には外国語対応がなく、観光客等が困惑しているので、外国語対応を充実させてほしい。	②
67	交通が集中するターミナルにおいて、ユニバーサルな視点で、京都を全く知らない人でもスムーズに目的地へ移動できるように誘導、標示することが肝要。特に地下鉄における行き先ごとの張り紙は、かえって情報過多になり混乱を招くだけでなく、美しくない空間にしている。	②
68	公共交通機関、特に市バスの種類が多いため、観光客に分かりやすいようにするべき。運賃も少し高い。	②
69	市バスの案内をもっと分かりやすくするべき。	②
70	外国人にも分かりやすい市バスの料金支払いの案内があれば良い。	②
71	市バスの運転を丁寧にすることや、混雑の解消に取り組んでほしい。	②
72	市バスのデザインは、京都の美しい景観を壊すことのない上品で静かなイメージをモチーフにし、車内でまちの案内を放送することで、観光客にも人気が出るであろう。	③
73	市バスの案内が分かりにくい。	②
74	市バスの行き先表示・案内を旅行客にも分かりやすくしてほしい。	②
75	市バスの乗り場や路線を分かりやすくしてほしい。	②
76	市バスの路線が分かりにくい。	②
77	京都駅バスターミナルには交通専門のコンシェルジュを複数名配置する必要がある。	②
78	バスの路線が分かりにくい。休日は人が多い。	②
79	京都にはバスがたくさん走っている。バスで色々なところに行くことができるのは、便利だが、数が多すぎると普段利用しない人にとっては、案内を見てもわかりにくいのではないだろうか。実際、同じ名前のバス停がたくさんあり（乗り場が複数に分かれており）、乗り場で迷っている人をよく見かける。使いやすいバス停を作り、利便性の向上を図ってほしいと思う。	②
80	バスの案内に関して、外国人への配慮が足りない。	②
81	バスに手荷物がおけるスペースがあれば良い。	③
82	百万遍、河原町通り等の市バス停留所は複数あり分かりにくい。	③
83	市バスのバス停リニューアルを早期に進めてほしい。	②

⑤ 市バス・地下鉄その他（10 件）		
84	地下鉄の運賃の値下げや、市バスの混雑緩和など、地下鉄や市バスに乗りやすくなるよう取り組んでほしい。	③
85	市バス・地下鉄と自転車（駐輪場・レンタサイクル）の連携も含めて、IC カードサービスの拡充等による市バス・地下鉄の利便性向上について検討してほしい。	③
86	地下鉄・市バス応援キャラクターの「太秦萌」をもっと活用してほしい。	②
87	市バスの良い点は景色が見えるところであるため、市バスと地下鉄で客層を分けてはどうか。	③
88	市バスをわかりやすくすることや、地下鉄の値下げをしてほしい。	③
89	地下鉄の混雑を改善してほしい。	②
90	市バスや自転車など、交通面での改善が必要。	②
91	地下鉄の終電が早い・運賃が高い・観光シーズンの混雑が激しいなど、不快に感じることも多い。誰にも便利な交通機関であってほしい。	③
92	地下鉄の駅のトイレが汚い。	②
93	「京都市役所前止まり」は早急に解消し、嵯峨野線と接続できて折り返し設備のある二条駅まではいてほしい。	③
⑥ 公共交通機関の充実（30 件）		
94	西院駅について、阪急と市バスとの連絡において最も重要な西大路四条北西角出入り口を整備すべき。	③
95	嵐電の北野白梅町と四条大宮をつなげてほしい。	②
96	関空とのアクセス改善のために、「はるか」に代えて関空快速を京都経由で草津・米原・長浜あたりまで入れてはどうか。LCC の台頭で安い足を求める客層が確実に増えるなかで、高くて遅い特急では鉄道は選ばれない。	③
97	観光地周辺以外や近隣都市との間の交通が発達していないことと、料金が高いことが問題。また、四条通の慢性的な交通渋滞も問題である。	③
98	観光の際、どの電車・バスに乗れば良いか分かりやすくしてほしい。	②
99	観光客の多い時間帯はバスや電車の本数を増やすなど、交通機関を充実させてほしい。	②
100	公共交通機関を充実させつつ、市内へのマイカー乗り入れを大規模に規制してほしい。	③
101	京都駅南側の開発が進んでいないのは、もったいない。	③
102	立命館大学へのアクセスを改善してほしい。	③
103	車を持たない人に向けた交通の利便性についても検討してほしい。	②
104	京都は交通網がとても充実していて、車がなくても移動に困らない良さがあると思う。	②
105	J R 園部駅から福知山までの間でも IC カードの処理ができるようになってほしい。	②
106	公共交通機関の IC カードの入金額を 100 円からにしてほしい。	③
107	公共交通機関をもっと増やしてほしい。	②
108	京都市の北側にも電車を通してほしい。	③

109	スルっと関西をＪＲでも使えるようにしてほしい。	②
110	地下鉄の混雑の解消ができるのであれば、長距離の移動を地下鉄、短距離の移動をレンタルサイクル、若しくはバスにしてはどうか。	③
111	バス、ＪＲ等の運行本数を増やしてほしい。	②
112	市営地下鉄とＪＲの定期券を一体化してほしい。	②
113	より多くの場所でスルっと関西や、イコカなどによる決済ができるようになってほしい。	②
114	伏見区・山科区は多様化する区民の生活動線を公共交通がカバーしきれていない。特に、丹波橋駅～藤城小学校前～六地藏駅の経路なら区域外からの用務客や通勤者にも使いやすいと思われるので、試行運転を最低でも２～３年行い、最も需要の大きい経路、時間帯、客層を見極めるべき。また、何が何でも地下鉄に誘導するのはやめ、伏見区内でも竹田駅止まりになっている路線は最低限京都駅八条口に取り入れれば利用客も戻ってくるのでは。	③
115	交通不便地における公共交通の維持について、左京区北部山間地域の実情と事業内容が合致していない。	③
116	子どもが増えている地域にこそ、公共交通機関を通し、利便性を高める必要がある。	②
117	小さい子ども連れの外国人観光客などが電車を利用する際、観光地の駅で満員電車になることをあらかじめアナウンスしておくべき。	②
118	地下鉄やＬＲＴ導入によって公共交通の充実・多角化を図る必要があるのではないか。	②
119	自転車を置けるスペースを増やすことに加え、京都市内のお店で買い物をしたらバスの運賃が安くなるなど、お店と公共交通機関の連携も大切。	②
120	京都駅と四条河原町の間人に人が集まるスポットを設けることで、観光客が拡散され、バスの混雑も減少するのではないか。	③
121	市内の公共交通機関を、観光地とリンクした日本語と外国語で説明した地図がほしい。	②
122	交通機関の料金が安くて出かけやすいまちにしてほしい。	③
123	バスの路線を再検討すれば、観光シーズンの混雑の改善につながるのではないか。	②
⑦ リニア・北陸新幹線誘致（１１件）		
124	リニア誘致はやめてほしい。税金の無駄遣いである。	③
125	リニア誘致は市民にとってのメリットが見出せない。	③
126	リニアの誘致は税金の無駄遣いであるため、やめてほしい。	③
127	リニアは京都より奈良を通した方が、市南部にとっては好ましい。	③
128	リニアはいらない。	③
129	リニアは反対。これ以上、移動時間を短縮する必要があるのか疑問である。	③
130	リニアの誘致は行わず、北陸新幹線の誘致に集中すべき。	③
131	リニア誘致は大事な事業なので、もっとＰＲすべき。	②
132	リニア誘致を実現して、京都のまちの活性化に繋げてほしい。	②
133	リニアと北陸新幹線は絶対に京都駅に通すべきだ。	②
134	リニアと北陸新幹線の誘致と早期開業は重要であり、重点プロジェクトにすべき。	②

⑧ LRT, BRTなど新たな公共交通（9件）		
135	LRTは幅員が広い割に交通量が比較的少ない道路で始めてはどうか。例えば京都駅八条口を起点に稲荷山トンネル経由で柳辻/山科区役所前、又は新堀川通り経由で名神高速桂川PA等が有望であろう。	②
136	LRT, BRTは、地下鉄の利用者を吸収することとなり、建設費等を考えると、増収にはつながらないと思われる。	②
137	LRTの実現を期待する。また、市街地中心部は地下鉄とLRT、周辺部は地下鉄・LRTとの結節バス路線など、公共交通機関ごとの役割を区別してはどうか。	②
138	LRT, BRTを推進してほしい。	②
139	LRTはいつできるのか。	③
140	路面電車があれば良い。	②
141	市電の復活を望む。	②
142	路面電車を復活させてほしい。また、四条の歩道拡幅をより有効にするために、公共交通以外は通行させないなどの対策も必要ではないか。	②
143	LRTなどの新しいものを取り入れる際には、既存の交通機関の利便性を向上させるなどしっかりと整備をしてから導入してほしい。また、導入にどのくらいの費用がかかるのかが気になる。	②
⑨ パーク・アンド・ライドなど自動車流入抑制（14件）		
144	マイカー流入を抑制するためにパーク＆ライドや公共交通の利用促進だけでよいのか疑問である。交通税の再検討が必要である。	③
145	歩行者を優先するあまり、自動車やタクシーでの通行がしにくくなっているため、自動車がスムーズに通行できるよう、側道（他の道路）の利用を呼びかけるべき。	③
146	自動車に頼らざるを得ない高齢者、障害者の視点がない。	③
147	車は便利であるため、一定の規制をしつつもそれぞれが不満なく、互いの交通が譲り合って進んでいくことを希望する。	③
148	市全域で細街路通過車両の抑制を図るべき。また宅地開発に道路整備が付随しなかった山科・伏見区では、ロードプライシング（車両課金）を行い、道路整備資金の確保と地域に無関係な通過車両の排除が必要である。Nシステムを使い通過車両のナンバーを撮影し、普通車200円、観光バス1万円を後日請求したらよいだろう。	③
149	自動車を減らすのに有効な手段は自動車に乗ったら不便であるということをつかってもらふこと。パーク・アンド・ライドをもっと進めて行くべき。更にマイカー観光拒否をもっと推し進めるべき。烏丸通り、河原町通りを一方通行にしたらどうか。	②
150	高速出入口や京都駅付近、東山通りなど、観光シーズンの慢性的な渋滞を解消してほしい。	②
151	現在のパーク・アンド・ライドでは不十分なため、車のナンバーによる規制や、電気・ハイブリット車への交通規制優遇、スマホアプリなどによる駐車場予約システムが必要。また、駐車場からのレンタサイクル利用が、パーク・アンド・ライドの促進に寄与すると考える。	②

152	自動車流入抑制はパーク・アンド・ライドだけでなく、ロードプライシングと併せて実施する必要があると思われる。中心部に流入する車両より、道路事情の悪い周辺区を通過する車両に課金することが効果的なのではないか。	③
153	「歩ける街」というようなフレーズで観光マップを作り、観光客に徒歩移動を誘導すれば、少しは交通渋滞を緩和できるのではないか。	②
154	伏見稲荷周辺の交通整備ができていない。	②
155	伏見稲荷の前の通りがいつも混雑しているので、対策を講じてほしい。	②
156	観光シーズンの混雑を何とかしてほしい。	②
157	紅葉シーズンなどにおける交通を安定させてほしい。	②
⑩ 四条通歩道拡幅（26 件）		
158	タクシーが四条通で停車できず烏丸通に停まっているので何とかしてほしい。	②
159	四条通りの歩道拡張は無駄な工事であった。	③
160	歩道の拡張により道路の混雑がひどくなっていると思うので、車道を元に戻してほしい。	③
161	四条通の歩道拡幅については、緊急車両の通行への対応や、地下道の整備と一体となった検討を行うべき。	②
162	四条通は非難の嵐。	③
163	四条通の歩道拡幅工事の影響でバスが不便になった。	③
164	四条通はどうか。	③
165	四条通の交通渋滞を改善してほしい。	②
166	四条通の交通渋滞を緩和してほしい。	②
167	四条通は一般車両通行規制を更に強化し、市バスをスムーズに走らせるようにすべき。	③
168	「歩いて楽しい京都戦略」はさらに推進してほしい。四条通は歩きやすくて良い。	②
169	四条通は、「歩くまち京都」を更に革新的に推進する取組の好例。	②
170	四条通はバスの時間は読めないが、歩きやすくなった。	②
171	拡幅後の四条通を歩いて、ゆったりと大らかで、穏やかな心持ちになれた。	②
172	四条通の歩道拡幅の取組は素晴らしい。これからも批判に負けずに取り組んでほしい。	②
173	四条通りは烏丸以西も歩道を広げてほしい。	②
174	四条通拡幅のように、歩く人を優先する取組をもっと進めるべき。	②
175	四条通の歩道拡大やパーク・アンド・ライドを進め、公共交通の利用を推進してほしい。	②
176	四条通の1車線化は交通量などへの影響の予測が甘かったのでは。東大路通も将来的に1車線化を目指すのであれば、想定される影響への対応策について入念に準備してほしい。	③
177	四条通の歩道を広げた結果、車道が非常に混雑しており、市バスの時刻がよめず不便。	②
178	四条通は循環バスのみとし、路線バスは御池通や五条通へ迂回をする社会実験を行っていただきたい。	③

179	四条通の歩道拡幅によって交通渋滞は悪化し、公共交通機関の一つである市バスの利便性の著しい低下につながっている。歩行者は快適になったかもしれないが、市バス利用者はかえって不便になったのでは。私的交通手段に対する公共交通機関の優位性を創出しない限りは低炭素型のまちの完成は難しい。バスのサイズを一回り小さくして、より多くの道をバスの通り道とすることで市バスの優位性を確立できないか。	③
180	四条通りと東大路通以外にも歩道を広くしてほしい。観光地近くのバス停が人で溢れかえり、自転車で走るのも歩行者もバス停で待っている人も快適でないと思う。また路駐している自動車の横を通るとき、非常に怖いので、路駐を規制してほしい。	②
181	四条通のように、車道を減らすことができるところは減らしてほしい。	②
182	四条通歩道の整備については、視覚障害者対策等が必要である。	②
183	四条通は広くなったが、観光客が広がって歩いているため、快適さを感じられない。	②
⑪ その他の歩行環境改善（16件）		
184	狭い歩道が多いので、道路を整備してほしい。	②
185	大通りの道が狭く、歩きづらい。	③
186	自転車を運転しやすいように、広い歩道を増やしてほしい。	③
187	歩道が狭い道路を改善してほしい。	②
188	道路環境は歩行者・自転車の安全を重視してほしい。	②
189	市民が住みやすいまちづくりのために、歩きやすく、移動しやすい道路の整備を最優先にすべき。	②
190	道路の幅に対し、人の数が多い。対策を講じてほしい。	②
191	道路に歩行者用の電子マップを作してほしい。	②
192	小さい通りに立看板が置いてあって危ない。車が通るときに通れない。	②
193	道路にお店の看板が出ていて危ない。	②
194	歩道橋をなくしてほしい。	②
195	東大路通の取組について、地元アンケート結果分析や四条通歩道拡幅の取組分析をしっかりとすべき。市民が参加できる仕組みをつくってから、推進すべき。	②
196	東大路通は東山区だけでなく左京区も密接に関与する道路であり、左京区や京大とも連携を取って、まずは三条以北、少なくとも京大病院までの歩道拡幅を急ぐべき。	③
197	歩いて楽しいまち・京都戦略に取りくんでほしい。「東大路通等での歩行環境の改善により、より安心・安全で快適な歩行空間を創出」する取組に賛同する。	②
198	東大路通等での歩行環境の改善は是非実現させてほしい。	②
199	東大路通の歩道が狭すぎるので、危険極まりなく、清水寺へ向かうお土産屋の並ぶ坂も観光客で溢れ返って、なかなか進まず、五条坂は観光バスが双方向に走るので大変危険である。特に夜間は、交通事故がいつ起こっても不思議ではないので、改善が必要だと思う。	②
⑫ 自転車政策全般（17件）		
200	より快適に自転車で利用できるよう望む。	②

201	自転車の走りやすい街にしてほしい。	②
202	「京都・新自転車計画」では、交通モード又は都市機能としての自転車の位置づけが不明瞭であり、更なる検討が必要。自転車利用環境も地域特性やニーズに合わせた整備が求められる。「歩行者と自転車が共存するまちづくり」とあるが、「歩行者」と「自転車」が同一枠で考えられていることに違和感がある。	③
203	市バスに自転車を積めるようにしてほしい。	③
204	自転車道の整備やバスへ自転車を持ち込めるようにするなど、自転車利用数と公共交通利用数の増加のためには、自転車とバスを両方利用できる環境を整備することが必要。	③
205	都市交通体系における自転車利用の特長、利点をより深め自転車環境を良くするために次のような事柄を提案する。 ① 自転車の合理的な利用によって、健康、体力の増強を図る。 ② 自転車の正しい利用によって、省エネルギーを図り、快適な環境を作る。 ③ 自転車利用者の正しい「交通マナー」の育成を図る。 ④ 「自転車道」の設置や、一部の交通規制を行い、自転車の安全走行を図る「自転車専用レーン」の設置を促進する。 ⑤ 自転車道路網の一環として、必要にして十分な「自転車駐車場」の設置を促進する。 ⑥ 自転車の円満な活用を図るため「自転車放置」を規制する。 ⑦ 関係団体、学校などと協力して、広く一般に対し「自転車安全利用」に対する教育、指導を行う。	①
206	自転車利用の推進には、まず駐輪場や走行環境などのインフラを整備するのが先決。特に自転車の違法駐輪の問題は深刻で、インフラ整備及び啓発活動が充分でないままに市が主導してのコミュニティサイクルの導入は非常に問題が多いと感じざるを得ない。	②
207	世界的な観光地としてごみが路上に増えないようなまちづくりや、自転車でも楽に市内を行き来できる環境を整えてほしい。	②
208	自転車は車道と言われているが、道幅が狭く、子どもをのせての通行が危険である。西大路通りの路上駐車を何とかしてほしい。子育てが安全にできる環境を整えてほしい。	②
209	自転車安全利用教育プログラムは誰に対してのものなのか明確にし、自転車及び道路環境に精通した者が構築すべきである。	②
210	自転車の活用を促すだけでなく、歩行者に対する配慮や自動車との関係で安全面も配慮すべき。	①
211	自転車レーンの整備が進んでいるが、路上駐輪がされているので、ポールを置くなど対策をしてもらいたい。	②
212	自転車と歩行者がともに安全に通行できるような施策を進めてほしい。	①
213	交通行政である警察との協業に関しては記すべきではないか。また、自転車安全利用教育プログラムの構築の目的を明確にするとともに、自転車環境の整備も行なってほしい。なお、教育者は自転車及び道路環境に精通した者が行うこと。	②
214	自転車を使用する人が多い一方、道も狭く、子どもが過ごすには危険。	②

215	安全に自転車を使うためや、安心・安全な歩行空間を確保するためには、歩行者の教育も必要。	①
216	自転車通行者のための道路整備を進め、自転車を安心して使えるまちづくりや工夫をしてほしい。	①
⑬ 駐輪場（35 件）		
217	駐輪場を増やしてほしい。	②
218	駐輪場，駐車場を増やしてもらいたい。	②
219	駐輪場を作ってほしい。	②
220	駐輪場が少ないと思うので，もっと増やしてほしい。	②
221	河原町周辺に駐輪場を増やしてほしい。	②
222	公共施設等の駐車場を増やしてほしい。	③
223	駐車場の数を増やし，駐車料金についても安くしてほしい。	③
224	駐車場や駐輪場を増やしてほしい。	③
225	テーマパークや観光スポットに無料の駐車場を作ってほしい。	③
226	河原町周辺の駐輪場を 3～5 時間程度無料で使えるようにしてほしい。	③
227	京都は駐輪場が少なく有料のところも多い。自転車が楽に走れる道も少ない。京都は自転車に不親切なまちだと思う。	②
228	市役所裏の臨時駐輪場がなくなるようなので河原町周辺に原付の駐輪場がほしい。	②
229	休日などは満車の駐輪場などが目立ち，路上駐輪をよく目にする。企業等の協力を得て駐輪スペースをより確保できればいい。	②
230	特に伏見区の京阪各駅は七条から中書島まで，狭隘道路にも走れる小型バスで駅から住宅地を結ぶが，2009 年以降に有料化された駐輪場を無料に復すべきである。	③
231	新しく市役所内に機械式の駐輪場ができたが，普通の自転車なのに，入らないと言われた。新しい施設を作るならば，一般の人が普通に使えるような施設を作ってほしい。	③
232	市内全ての駐輪場を無料化してほしい。	③
233	自転車でいろいろと移動をしやすように交通を整備しているのに移動した先での駐輪場が少ないように思われる。駐輪場の不足が地下鉄駅前や食事場所前での長期放置につながっているように考える。レンタサイクルの利用を増加，充実させるには，コストを抑えながら駐輪場の設置，整備が重要になってくる。	②
234	路面ピクトグラムを早く導入すべき。駐輪場の場所を，詳細な地図に表示してほしい(日本語・英語・中国語)。	②
235	バイクの駐輪場をもっと増やしてほしい。	②
236	公共交通機関の本数を増やしたり，駐輪場を増やしたりすれば，一層車の交通量が減るのではないか。自転車専用の道をもっとつくってほしい。	②
237	駐輪場を増すことにより，放置自転車を減らしてほしい。	②
238	無料の駐車場・駐輪場を充実させてほしい。	③

239	空いたスペースを利用した小規模な駐輪場や、一風変わったおしゃれな駐輪場があるとよいと思う。	②
240	四条の近くに無料の駐輪場を作してほしい。	③
241	駐輪場を増やしてほしい。	②
242	四条大宮・西院にもっと駐輪場を作してほしい。	②
243	バイクの駐輪場が少ない。	②
244	駅周辺の自転車駐輪場をもっと整備してほしい。	②
245	四条大宮駅周辺において、駐輪場が不足している。また、形骸化する附置義務駐輪場については禁止等の規制をかけ、駐輪場が使いやすくなるよう条例改正を検討してほしい。	②
246	阪急西院駅周辺の駐輪場の場所が分かりにくい。一時的に止める人が目立つ。30分まで無料となる駐輪場を整備できないか。	②
247	駐輪場の無料時間をもっと長くしてほしい。	③
248	駅の駐輪場は無料にしてほしい。	③
249	自転車の取り締まりを強化すると共に、駐輪場を確保すべき。市営の無料駐輪場を設けるか、それが財政上厳しいようであれば最初の60分間無料でそれ以降は有料といった駐輪場を設けてほしい。	③
250	自転車の通行スペースに、歩行者が横に広がって歩いたり、駐車している方もいるので、人々の意識を変えることも必要だと思う。また、駐輪場を増設するとともに、主要な交差点で最寄りの駐輪場を案内できないか。	②
251	駐輪場の場所や料金等についても書かれている自転車用のマップがあると便利だと思う。	②
⑭ 自転車走行環境（20件）		
252	自転車専用道路などの整備や地下型駐輪場の設置を更に推進すべき。	②
253	自転車専用レーンを設けたり、ボランティアを募集して、交通ルールを守らない自転車の取り締まりを強化してもらいたい。	②
254	今出川通には自転車レーンが必要。	②
255	市内、特に四条河原町から四条烏丸、また三条河原町へかけての自転車の通行可能エリアを整備してほしい。また、自転車が通行可能かをハッキリと分かる形で案内をしてもらいたい。中心部の更なる交通利便性向上に向けて、自転車利用者の視点も持ってほしい。	③
256	自転車ロードを充実させてほしい。	②
257	自転車専用道路を新設してほしい。	②
258	自転車の専用道がほしい。	②
259	細街路での学生の自転車通行が問題。大学への主要ルートだけでもいいので、自転車専用レーンをもっと整備してほしい。	②
260	歩くまち・京都を実現するためには、快適な歩行空間や安全の確保が課題になっている。京都市では自転車の利用率が高いので、自転車専用レーンの普及をしていただきたい。	②

261	人が多すぎて自転車で通るのは少し危険なように感じているので、観光地周辺などで自転車専用道路を作ってほしい。	②
262	自転車利用環境の安全性を構築するためのインフラ整備を集中して実施すべき。	③
263	道路上の自転車用マークによって、景観が損なわれるので、デザイン上の配慮があるとよい。	②
264	自転車、歩行者、自動車、それぞれの道の区別を明確にしてほしい。四条通について、今後、歩行者専用の道、自転車専用の道を作り、車道を通れるのは、バス、台数を限定したタクシー、宅配車などにすればよい。	③
265	自転車をもっと安全で有効な交通手段にするため、自転車道の整備を進めるとともに、自転車で走りやすい道をまとめて周知してほしい。	②
266	西大路通りは歩道と自転車用道路が分かれているが、自転車側の段差やデコボコが目立っている。	③
267	京都市内では自転車の運転にまだまだ支障が大きいと、自転車専用レーンを低い柵で囲ったり、お年寄りや観光客に注意喚起をしてはどうか。	②
268	社会実験を行い、自転車ラインの運用方法等を検討することを挙げていただきたい。	②
269	観光客や住民が快適に自転車走行及び歩行をするために、どの場合に自転車は歩道走行が可能なのか広く理解してもらったうえで、自転車が走行しにくい道には歩道と車道の間に自転車用の道を作ると良いのでは。京都式レンタルサイクルに向けての始動は大変素晴らしい。	②
270	自転車道を整備してほしい。鴨川の七条～東福寺にサイクリングロードや遊歩道を通すべき。	③
271	鴨川（賀茂川）・琵琶湖疏水・高野川・山科川の両岸にサイクリングロードを整備する。特に山科川は細切れに整備された遊歩道と周辺道路との連携がないので、安祥寺川などの合流点4箇所に橋をかけ、自動車との分離や災害時の避難経路確保、区民の健康づくりに役立てられる。また、照明がない河川敷は事故や犯罪の温床になりやすいので早急な整備が望まれる。	③
⑮ 自転車ルール・マナー（11件）		
272	歩くまち京都の政策について、四条通の歩道拡大や、自転車道の整備等に関心があるが、特に自転車走行のルールが確立されていないと感じる。物理的に細い歩道では、左側通行の自転車マークが路上に記されていても、自転車2台が入れ違える程のスペースがなく、自転車同士の衝突が気になる。四条通では歩車分離信号を渡る際、車用の信号を渡るようになっているが、車両と共に渡っていると、車にクラクションを鳴らされたり、ルールを守っているはずが、周知徹底されていないために、嫌な思いをすることがある。	①
273	京都式レンタサイクル検討委員会のメンバー・方向性と、らくなん進都のレンタサイクル社会実験の内容を教えてほしい。また、自転車の徹底的なルール・マナーの周知と啓発が重要。	①
274	自動車・自転車マナーの改善に有効な方法を考えてほしい。	①
275	自転車マナーの改善に対する取組をもっと積極的に行ってほしい。	①

276	自転車のマナーが悪い人を取り締まってほしい。	③
277	歩道を通行する自転車の取り締まりを強化してほしい。	③
278	自転車を取り締まってほしい。	③
279	自転車免許制度や車両登録番号の登録の義務化を検討してほしい。	③
280	車道に自転車レーンを設置し、ルール・マナーを徹底させてほしい。	①
281	レンタサイクルを推進することはいいが、同時に交通マナー啓発や自転車道の整備を推進するべき。	①
282	駐輪場整備や、危険な自転車運転に対する対策についてもっと記載すべき。	①
⑩ レンタサイクル (17 件)		
283	レンタルサイクル利用を観光地への移動手段としてはどうか。	②
284	自転車やステーションの設置、自転車専用道路を整備し、世界中の観光都市が積極的に導入している、「自転車シェアリング」を導入すべき。	③
285	無料あるいは低価格で自転車を借りることができ、また、市内数箇所に設けられたところであればどこでも返せるシステムをつくってほしい。	③
286	京都式レンタサイクル検討委員会の設置に当たっては、行政主導での拠点整備や公共用地・歩道敷の活用等を検討してほしい。	②
287	自転車を貸し出している施設・店舗が少ない。	③
288	地下鉄の駅の近くにレンタルサイクルを設置してはどうか。	③
289	駅にレンタサイクルを設ければ自動車の利用が減るのではないか。	③
290	京都式レンタサイクル検討委員会の設置は後期 5 年間で費して検討されるべき内容なのか疑問。「京都式」が他の形式と相対化された概念ならば、その相対化された対象は何か不明。らくなん進都の地区内におけるレンタサイクル社会実験の実施は他の交通手段との連携や、ノード及び地区における必要性の検討が重要。	②
291	レンタサイクルについては、導入が遅れているように感じる。観光地から離れた宿泊施設と連携し、レンタサイクルを活用するなど、公共交通と併存したレンタサイクルのあり方を検討してもよいのではないか。	③
292	「京都式レンタサイクル」とは何を示すのか具体性に欠け、5 年も費やして検討すべき内容か疑問である。レンタサイクルを安心安全に活用するためには啓発が必要不可欠であり、無人貸出システムは視野に入れるべきではない。検討委員会では既存のレンタサイクル事業者から専門的な意見を聴取するとともに、利用者による交通事故や迷惑駐輪などのトラブルに関しても十分検討する必要がある。	②
293	全国でレンタサイクル関連の社会実験はことごとく失敗しており、京都市も実施するのであれば、それを行う根拠を具体的に提示し、他の交通手段との連携やノード、地区における必要性の検討が重要である。また、京都市の自転車関連指定管理業者はほぼ不変であり、実験担当業者の選定には厳格な公平性が必要である。	②
294	京都式レンタサイクルについて、クレジットカードしか決済手段がないと相手にされないもので、コンビニ決済等多様なアプローチを講じるべき。	③

295	京都式レンタサイクル検討委員会について、「京都式」とは何なのか。レンタサイクルを利用する外国人に向けたケアも必要ではないか。無人レンタサイクル貸出システムは、違法駐輪などのトラブルが多く想定されるので、問題があるのではないか。既存のレンタサイクル事業者が検討委員会に入るべきである。	②
296	観光客（日本人・外国人共に）には自転車のルール・マナーの啓発を行う必要がある。安心・安全で便利な京都式レンタサイクル検討委員会の設置とあるが、何を目的としているのか不明である。また、本市の観光需要として、レンタサイクルを推進する根拠が不明瞭である。市民の自転車利用率が高い本市において、観光レンタサイクルの推進は、駐輪場の確保や安全な自転車走行環境が前提であり、市民生活に対して不便益なものになってはならない。	②
297	各地下鉄の駅にレンタルサイクルコーナーを設置してはどうか。また、設置に伴い自転車専用道路の整備や自転車運転のマナー教室の実施などにも必要になる。自転車向けの観光マップの作成やスタンプラリーといったイベントの実施など様々な活動に波及することができる。	③
298	レンタサイクルには、利用時間を守らない、私物化される、返却がいつまでたってもされない、利用者数の多い駅に集中するなどの問題が起きている。車での大量の自転車の運搬方法などシステムを検討しなければならない。行政だけでは負担が大きくなる可能性もあるので地域のお店など地域との協力が重要であると考えます。	②
299	らくなん進都地区内におけるレンタサイクル社会実験について、観光客が少なく多車線の道路が完備されているこの地区で、なぜ社会実験を行うのか疑問である。社会実験の内容がどういうものかわからない。	③

(3) 歴史・文化都市創生戦略

49 件

① 歴史・文化都市創生戦略全般 (2 件)		
1	「歴史・文化都市創生戦略」に積極的に取り組んでほしい。	②
2	「歴史・文化都市創生戦略」では京都市立芸術大学の移転整備以外に大学との連携が記されていない。歴史的・文化的資産の保存・継承事業に京都の人文系学生などが参加することは効果的ではないか。	③
② 自然景観 (11 件)		
3	古都法によって厳しい規制に守られている特別地域について、市が買い取った山林・農地等をただ保存するだけではなく、森林公園的な整備を推進すべきではないか。例えば嵐山の岩田山、北嵯峨地区の買取農地の保存管理についても景観に配慮しつつ観光農地として活用できないか。	③
4	三山が荒廃しているため、地域住民と連携し、学校の自然環境学習の一環で山の手入れを行ってはどうか。	②
5	荒廃した森林や竹林再生は一般の方も参加できるようにしてほしい。	②
6	荒れた竹林・森林に手を入れ、景観保全、再生、活用を推進してほしい。	①
7	外見はきれいでも中は荒廃した森林が増加しているという現状を知ってほしい。	①
8	荒廃した森林・竹林は「再生」では不十分。「再生による古都の景観保全」など、再生の目的地を明らかにし、追加してほしい。また、「歴史的景観の保全に関する景観政策の充実」は「歴史的景観の保全・再生・活用に関する景観政策の充実」としてほしい。	①
9	賀茂川の景観・美観保全は大切だと思う。	③
10	鴨川は、歴史・文化、更に生活面からも、日本遺産、世界遺産に推薦しうるほど重要。	③
11	橋を目安に人が来るのか疑問がある。何十年後であっても京都のまちに似合うことと、渡月橋のように災害に対して頑丈で、かつ景観を損ねないようにすることが必要。	②
12	「荒廃した森林・竹林における再生の推進」について、「古都三山の荒廃した森林・竹林における景観保全・再生の推進」としてほしい。	①
13	京都の山は末期的症状。新たな森林再生計画を打ち出して頂きたい。	③
③ 町並み景観 (16 件)		
14	魅力ある町並みの保全に向け、引き続き頑張してほしい。	①
15	古いものや町並みを活用・保存しつつ、新しいものも導入してほしい。	②
16	昔の街並みを大切にすることが必要。	①
17	京都の看板の取組は世界にも誇ることができる。美しい町並みを今後も作ってほしい。	②
18	中心部で町家を取り壊されたり、新しい建物の色調もバラバラなど無計画な印象を観光客に与えている。ビジョンを持って、建築を許可してほしい。	①
19	無電柱化は本当に実施してほしい。景観だけでなく、歩行者や自転車の安全にもつながる。	①
20	電柱をなくしてほしい。	①

21	山科区の三条通、伏見区の師団街道には歩道を狭くするだけの横断歩道橋が数箇所残存しているので撤去し、無電柱化も同時にしてほしい。	②
22	「良好な道路空間の創出」については、「良好な道路空間の創出・維持」としていただきたい。中央分離帯の街路樹は、手入れをして美観を保ってほしい。	②
23	京都らしい街路の創出のために、維持管理だけでなく周辺の街並みに調和した街路づくりを進めてほしい。	①
24	「歴史的景観の保全に関する景観政策の充実」について、「古都の歴史的景観保全、再生、保存及び活用に関する森林景観政策等の充実」としてほしい。	②
25	スラム化した改良住宅を何とかしないと、世界の観光都市とは胸を張って言えない。特に永観堂の横の市営住宅は、観光客の目を引いている。計画に問題があるのでは。減免もやりすぎ。	③
26	4、5階建ての比較的小規模なビルについて、デザインを統一できないか。	③
27	ラッピング市バスの醜悪な広告表現の徹底検証と排除が必要。品格を持った表現のみを許可すべき。	③
28	町の景観について、厳しい規制があるのは賛成できるが、実状は京都らしい景観が維持されているとは思えず、雑然としている。	③
29	もっと歴史的建造物のPRをすべき。	②
④ 文化（20件）		
30	学校教育で伝統文化や伝統産業に触れることで、その職に就く人が増え、伝承できる。さらに、給食を「和食」にすることで、日本料理の素晴らしさを知ることができ、マナーが身につく。また、大学や他の団体と連携し、中小企業を支援することで地域の活性化が促進されていく。	②
31	ページ18 2. 伝統的な文化にふれる体験 端午の節句を祝う色紙『ぬり絵』を提案する。親子で参加でき、楽しい時間と思い出の作品が出来上がる。親子で集う体験型のイベントにしてほしい。	③
32	学校、地域のイベントで書道、半紙作品を裏打ちする体験を活用してほしい。	③
33	京都検定を受験するよりも、実際に伝統的な文化芸術を体験する方が効果的である。	②
34	幼少期に伝統文化に触れる機会を創出するなど、より文化に興味を持ってもらえる取組が必要。	②
35	イベントなどにより、市民が京都の世界遺産の良さを知る機会があれば良い。	③
36	小学生のときジュニア京都検定を学校で受けた記憶があるが、多くの内容を忘れてしまっている。小学生だけでなく中・高・大学生、また他府県民や海外からも広く受けられるようにすべき。	②
37	「京都」は日本のまちな原風景を残した数少ない都市である。伝統の知識と経験を共有・発信・交流する機会を多く持つと良い。	①
38	SNSや動画など、インターネットを通じた伝統文化・芸術の情報発信が、国内外から観光客や担い手候補を呼び込むのに効果的ではないか。	②

39	日本文化を正しく伝える必要がある。	②
40	あらゆる施設を「京都らしく」してはどうか。	③
41	登録された若手アーティスト団体を評価するシステムを構築し，評価の高い若手アーティスト団体に対して支援を行ってはどうか。	②
42	伏見の龍馬をもっとPRして活性化させてほしい。	③
43	学生が文化的なものに興味を持ってもらえるよう，美術館などを無料にしてほしい。	③
44	文化庁移転に意味があるのか疑問。	③
45	文化庁の誘致に賛成する。文化首都として発展してほしい。	②
46	東京一極集中状態を打破するためにも，文化庁等の誘致には大賛成。首都機能に関しては隣の大阪府に担ってもらい，京都は「日本文化の都」としてより発展していけばよい。	②
47	日本料理人になりたい外国人のサポートを行うといいと思う。	②
48	国立博物館の正確な待ち時間を伝えるべき。	③
49	時代祭や葵祭の日を祝日にしてほしい。	③

(4) 個性と活力あふれるまちづくり戦略

48 件

① 移住・定住，人口減少（15 件）		
1	若い人の移住が進めば，人口は増加していくと思う。	③
2	住宅を増やすことによって，若い人が集まってくるのではないかな。	③
3	若者に京都に住みたいと思ってもらうためには，観光地と居住地のメリハリをつけることが大切ではないかな。	③
4	人の流れをつくるのは難しいと思うので，観光地として改善が必要だと思う。	③
5	各地域の交通利便性や買物がしやすいことなどをインターネットで発信することにより，移住者が増加するのではないかな。	②
6	まちを紹介するホームページを増やしてはどうか。	②
7	キーワードを入力すると該当する地域が検索できるホームページがあると良い。その際，空き家の情報も見れると良い。	③
8	地域の大型スーパーや住民の年代などの情報を外国の方にも分かりやすく発信し，頻繁に更新すると良い。	②
9	京都は観光地の歩行環境や物価の高さ，気軽に立ち寄れるスーパーが少ないため，住みにくいと思う。	③
10	人口増のために，住みやすく，働きやすく，物価が安い環境が重要である。また，京都在住の学生が，京都で働ける場所を提供する取組を検討すべき。	②
11	郊外が都心部より魅力的になるには，水回りがしっかり整備されていることや家賃が割安であることが必要。	②
12	子どもが育てやすい環境，買い物がしやすい環境など，住宅地の環境を整えていくことが人口増加につながっていくのではないかな。	②
13	住人口減少対策にしても，適正な居住人口と居住空間（良質な住環境・地域サービス）の担保が必要。	③
14	家賃が高いので安くしてほしい。	③
15	アパートの家賃を安くしてほしい。	③
② 地域の個性を生かしたまちづくり（31 件）		
16	京都市北部の自然をもっとPRすべき。	②
17	久多や花背といった山間地域に対して，インフラ整備やコミュニティバスの増加や乗り合いタクシーに対する補助などによる交通アクセスの向上を図ってほしい。	②
18	北部山間地域の振興に左京区の北部山間地域の活性化が記載されていない。	②
19	北部山間地域（へき地）を切り捨てないでほしい。京都市全域の生活環境レベル（道路，交通，福祉等）を平等にかさ上げる政策を実施すべき。また，高速通信，携帯電話，電気等は平等に使える様にしてほしい。	②
20	北部山間地域の振興により重点を置いて実施してほしい。	②

21	京都ならではの力の入った5箇年計画だと感じたが、「原発避難」や「花脊峠のトンネル化」など、もう少し左京北部に対する記述があればと思う。この地域の振興を5年間のプランの中で御検討いただきたい。	③
22	洛北地域を自然・文化・教育ゾーンとしてはどうか。	③
23	北部山間地域の対策と具体的取組、予算、目標を示してほしい。	③
24	山科疏水について、アクセス道路は全て幅員狭隘で歩行環境は劣悪。歩行者専用の道路を1kmおきに1,2本くらいは確保することが望まれる。	③
25	動物園のキリンを増やしてほしい。	③
26	文化の薫り漂う、歩いて楽しい岡崎の推進内容に反対。岡崎は安っぽい文化の場所ではないので、スタンプラリーのような手法で回遊性の向上を図るのはおかしい。岡崎に賑わいは不要。静かさも観光の重要な資源。地域住民が豊かに静かに暮らせてこそ、歴史・文化豊かなまちになる。観光とはそれを見に来るもので、観光のために市民の暮らしを犠牲にするのは、発想が逆転している。	③
27	岡崎地域は落ち着きのある雰囲気がある。夜の賑わいの創出など、更なる賑わいの演出はやめるべき。	③
28	梅小路公園内の設備改修や屋内スペースの整備に取り組んでほしい。	③
29	京都駅周辺の活性化は素晴らしい。	②
30	芸術大学の移転整備とまちづくりをしっかりと進めてほしい。	②
31	崇仁地域のまちづくりに興味がある。文化都市としての京都を確立してほしい。	②
32	京都市立芸術大学移転により、崇仁地域に活気が出て良いと思うが、地元住民の意見を聞きながら進めることが必要。	②
33	洛西地域のように、少し不便でも住みよい地域をPRすべき。子育て世代が暮らしやすいよう、スーパーやドラッグストアが増えれば良い。	②
34	洛西地域の活性化の取組は重要である。また、交通の不便さに対する対策も必要。	②
35	「らくなん進都」そのものを見直すべきではないか。長年続いているが産業集積につながっているとは思えない。試行実施していたBRT事業も十分な効果があったとは思えない。	③
36	「らくなん進都」について、バス運賃均一化が必要。特に、新堀川通の「らくなんエクスプレス」は周囲の市バスに比べても運賃が割高。これは、山科・醍醐地区の「山科急行」も同様である。	③
37	「らくなん進都」は特区として何かできないか。	③
38	地下鉄北山駅周辺については、住む人に配慮した賑わいあふれるまちづくりに取り組んでほしい。	②
39	桂川駅近辺エリアの再開発が進んでいるが、再開発エリアの拡大はないのか。	③
40	太秦に遊ぶところが少ない。	③
41	太秦天神川駅周辺をもっと活性化してほしい。	②
42	人が集まるところが四条だけに集中しているため、四条のようなまちをほかのところに作り発展させてほしい。	③

43	四条や京都駅以外にも観光スポット等をつくっていくことが必要ではないか。また、観光スポット等は観光者を優先に考えて、市民にとってはそれ以外に新しく住みやすい町にしてほしい。	③
44	西陣織をもっといかしてほしい。	①
45	四条通が地上と地下の両方で活気付き、京都の新たな観光スポットを創設するためにも、有効に使われていない四条通の地下道に、実験的に店舗を出店して、ビジネスチャンスの創設につなげてはどうか。	①
46	地下の活性化	①
③ まちづくりの仕組みづくり（2件）		
47	人口減少が進んでも、市の経営を成り立たせるため、市街化区域の縮小を行うべき。	③
48	地区計画等による環境保全も大事だが、それによって日常生活を不便にしようようでは本末転倒であるのでほどほどにしてほしい。	③

(5) 旅の本質を追求する観光戦略

86 件

① 観光戦略全般 (6 件)		
1	旅の本質を追求する観光戦略を推進し、さらに、京都に魅力を高めていってほしい。	②
2	「世界一の観光都市」の効果を京都市の隅々まで生かすべき。	②
3	京都には外国人観光客が多いので、外国人に対する施策をしてほしい。	②
4	京都は日本の代表的な観光地なので、観光地の整備や観光事業を推進していかなければならない。	②
5	観光名所で、無料で提供できるサービスを考えてほしい。	③
6	観光都市として、かも川もきれいだ。たまにくるから良いと思う。	③
② 宿泊環境の充実 (6 件)		
7	宿泊環境の充実はとても素晴らしい。空き家も多くなり、町家もどんどん減る中で、それを活かせるのはとても良い事だと思う。	②
8	農家民宿の積極的な導入が、地域への「人の流入」にも直結すると考えるので、金銭的な補助・奨励・金等の交付も検討してもらいたい。	③
9	宿泊料などをもう少し下げ、外国人などにもお手頃にしたら、もっと観光者が増え、活性化されると思う。	③
10	ハイクラスホテルやおしゃれなゲストハウスなど、幅広いターゲットのホテルが沢山出てきてうれしい。	②
11	民泊に対する具体的な展望を示してほしい。	②
12	分譲マンションの空室利用等による民泊は慎重に検討していただきたい。	②
③ 受入環境の充実, おもてなし力の向上 (34 件)		
13	ユニバーサルツーリズムを充実させるのは大変良い。ユニナビで視覚的な情報を増やしたり、緊急時の情報伝達を充実すべき。	②
14	障がいや持病を持った方も旅の本質を追求できるよう福祉観光の充実を図る必要がある。	②
15	伝統文化産業の後継者支援やイスラム圏の方々が訪れやすいまちを目指すような施策を行うべき。	②
16	三条通や四条通、地下鉄の駅などは Wi-Fi 環境が整備されているが、観光地への道のりや駅から離れると整備されていないので、通信キャリアを巻き込んだ整備を進めるべき。	②
17	駅以外の所にワイファイを設置して、通信環境を良くしてほしい。	②
18	イギリスのように、各区ごとに専用の wi-fi を作りいつでもウェブサービスを利用できるようにする。	②
19	wi-fi を設置している所を増やしてほしい。	②
20	歩道に wi-fi を通してほしい。外国人もインターネットなどを気軽に使えるし、スマホなどの料金も減るだろう。	②
21	wi-fi スポットをもっと広げてほしい。	②

22	ますます外国人観光客が増えると思うので、おもてなしの取組を進めてほしい。	②
23	外国から来られる人へのサポート（通訳や案内標識など）を充実すべき。	②
24	外国人観光客が迷わないように案内板を市全域に設置しては。	②
25	訪日外国人の増加に対し、案内図やルール、しきたりなどの標識がもっとあると良い。	②
26	京都の人が案内できるようにしてほしい。	②
27	産官学が連携し、学生が外国人と直に話す機会をつくることで、学生には勉強と経験と就職機会の場、コールセンターは人材確保の太いパイプを得られ、京都市にとっては、応用として観光ガイド事業との連携も図れる。学生を4年間で京都府外へ流出させるのは、同時に働き手を失うことにもなるので、真剣に考えるべき。	②
28	観光地の店舗の人材育成は必要だと思う。	②
29	市民のおもてなし力の底上げにおいては、学生のみならず社会人も含めた市民全体の底上げが求められる。京都の伝統産業・文化・歴史・風俗、外国人観光客をもてなすうえで、語学力等を身に付けられる機会は働いている社会人により多く求められるが、具体的な取組はないのか。	②
30	留学希望又は留学経験のある学生に、外国人向け観光ガイドになってもらおう。	②
31	市が外国人観光客をガイドする学生を募り、学生に案内をさせてはどうか。	③
32	オリンピックで多くの外国人が京都に訪れると思うので、外国語が堪能な案内者を集めた事業が必要。	②
33	観光地に通訳する人が必要。	②
34	有名な観光地には、各国の言葉に対応できる人を置いてほしい。	②
35	外国人観光客が多いので、各お店に1人は他国語を話せる人を配置してはどうか。	②
36	外国人観光客人数が増加し、道路整備や施設の充実化を図っているが、直接的、いわゆるアドバイザーの提供が少なく、不便であるように感じる。住民への語学能力の向上とまでは困難かもしれないが、旅行者が語学で困らないように配慮すべきだ。	②
37	観光地であり、外国の方が多く、英語を活用すべき。	②
38	外国からの旅行者に対して、分かりやすいように多国語を使った方がいい。	②
39	海外からの観光客に道を聞かれたときのために、対処ブックがほしい。	②
40	外国人がコンビニやトイレの場所などがわかるよう、英語説明や道を聞けるところを増やしてほしい。	②
41	英語圏以外の観光客への対応や、免税店の増加・支援をしてほしい。	②
42	アジア系観光客向けの商法を規制してほしい。	③
43	メジャーな観光名所以外への観光も盛んにするため、観光名所のトイレだけでなく、公園や駅のトイレも綺麗で使いやすいものにする必要がある。	②
44	観光地のトイレが汚いため、個室ごとに使い方を掲示したり、旅行会社を通じて教示してほしい。	②
45	プリペイドカード、ICカードなどを交通機関だけでなく、観光名所の拝観料にも使えるようにしてほしい。	③

46	外国人観光客のお子さんも入れるような保育所を作ってはどうか。	③
④ 新たな魅力の掘り起し（24 件）		
47	職人技は製造過程といったプロセスにも現れる。観光客がプロセスにも接することができるよう、職人と連携し、特に外国人観光客相手の体験企画を検討すべき。	①
48	京都の良さを伝える伝統的な店をフォローし、外国に伝えられるようにする。	①
49	中国などのアジア諸国の来日が増えているため、買物環境や宿泊環境、案内標識の整備を行うとともに、体験ツアーを充実してはどうか。	①
50	京都を体験できる場をもっと増やすべき。	①
51	西陣織など、府外の人でも体験できるよう伝統工芸品をもっとアピールすべき。	①
52	京都の和菓子を地方などに販売に行ってはどうか。	③
53	京都は、古き文化の香りがする老舗のお店から新しいモダンなお店まで幅広く存在しており、上手にされていると思う。	②
54	観光客がもう一度来ようと思ってもらえるような設備を設けてはどうか。	②
55	産業遺産の観光化を進め、滋賀も含めた産業遺産のモデルコースがあるとよい。	③
56	京都の観光は、初心者には難しい。初めての人でも京都観光が楽しめるようなエリア、施設などがあると良い。	③
57	お寺を見ながらウォーキングできるコースを作してほしい。	②
58	久多と高島市の境界線付近のポイントから、日本最南端の高さが見えるポイントを探し、トレッキングルートを整備してほしい。	③
59	旅館・ホテルなどの集客企画に、書道体験を提案する。	③
60	京都にテーマパークを誘致してほしい。	③
61	アミューズメントパークを建てて若者をよび、京都の魅力を知ってもらう。	③
62	人気キャラクターやアニメを使ったテーマパークを作るのも良い。	③
63	大きなテーマパークを誘致し、京都経済の活性化につなげてほしい。	③
64	テーマパークを誘致してほしい。	③
65	テーマパークなどの体で楽しむ施設が増えるとさらによくなると思う。	③
66	京都には最先端の建物やテーマパークがない。楽しく遊べる場所ができれば、もっと京都に行ってみたくになると思う。	②
67	遊ぶ場所や四季に合わせたイベントが多いまちにしてほしい。	③
68	休日に遊べる楽しい施設を作してほしい。	③
69	岡崎エリアへの誘致と東大路アクセスの改善（他のエリアモデルに）など、市民の協力で実現する取組をしてはどうか。	②
70	銀閣寺から如意ヶ岳及び三井寺を経由して大津に至る「如意越え道」は、史跡が点在し、展望ポイントもあり、ハイカーが利用するルートであるが、手入れが行き届いていない。この道を再生・保全し、琵琶湖疏水の舟運で戻ってくる観光ルート事業を追加してほしい。	③

⑤ 観光客マナー啓発（4 件）		
71	外国人観光客が増えているが、もっと日本の習慣や文化を知ってもらい、マナーをよくしてほしい。	②
72	外国人観光客のマナーの悪さや宿泊施設が少ない等の問題に対し、京都のブランドを損なうことがないよう事業を進めてほしい。	②
73	外国人観光客を増やそうというのはわかるが、マナーを守れるように、もう少し規制してほしい。	②
74	外国人観光客のマナー喚起も重要。	②
⑥ 混雑緩和など市民目線の観光（12 件）		
75	観光地の混雑具合を知りたい。	③
76	観光客による電車やバスの混雑がひどい。	②
77	春・秋は移動が困難で市内に買物へ行けないので市・府民専用バスを作してほしい。観光地に妙な資本のみやげ物・飲食店をつくるのは、京都の品が落ちる。	③
78	バス停に並ぶ人が歩道をふさぎ、なかなか通れないなど、観光客が増えることで市民が住みにくくなるのは問題である。また、歩いて行けるような距離でも、それを知らない観光客はバスを利用するので、簡単に地図にして配るなど歩けるところは歩いて移動してもらうようにすれば、少しは混雑も減るのではないか。	②
79	観光シーズンには外国人観光客をよしと考えない市民もいるため、対策が必要。	②
80	増えている外国人観光客への対応に追われ、日本人への対応がおろそかになっているのではないか。	②
81	観光客を増やすことも大切だが、住んでいる人のことも重視すべき。	②
82	観光地に外国人が来て住民の生活を邪魔してしまうことのないように対策をしてほしい。	②
83	観光で人は増えるが、住んでいる人のメリットになっておらず、デメリットが大きいので、視野を変えてほしい。	②
84	観光客にも市内在住者にも魅力的なまちになるように、バランスのとれたまちづくりを進めてほしい。	②
85	外国人観光客に迎合しすぎて、本来の京都の姿がないがしろにされるのは困る。本来の京都の良さを大切に、市民第一の観光施策をしてもらいたい。	②
86	土地の魅力が旅行者をひきつける。京都人が自然に沿って心豊かに暮らしていないと、誰も京都に来たいと思ってもらえないと思う。	③

(6) 新産業創造戦略

64 件

① 新産業戦略全般 (4 件)		
1	「新産業創造戦略」に取り組み、活力ある京都にしてほしい。	②
2	成長戦略という建前の下、必要のない政策を進めることのないようにしてほしい。	②
3	大学の知を活かした産業振興は京都の発展に不可欠である。	②
4	京都の活力であるものづくり振興に引き続き取り組んでほしい。	②
② 雇用創出 (19 件)		
5	魅力的な仕事があれば人は集まる。	②
6	京都での学生の就職先が増えれば、人口増につながるのではないかな。	②
7	学校での職場体験だけでなく、企業見学や説明会をより大きな取組としてやってほしい。	②
8	ブラック企業やブラックバイト等に対する対応策を盛り込むべきではないかな。	①
9	学生アルバイトに対する最低賃金の値上げや深夜労働など時間帯に応じた料金設定をしてほしい。	③
10	非正規であっても、正規であっても、有期雇用でなく長期雇用を。	②
11	京都は学生が多くアルバイトをする人が多いと思うので、快適な労働環境を保てるように市が管理できれば良いと思う。	③
12	「上京より上洛!」と題し、学生、就活生を誘致する施策を展開してほしい。	②
13	最低賃金を上げてほしい。	③
14	最低賃金をさらに上げてほしい。	③
15	最低賃金を上げてほしい。	③
16	収入の格差がありすぎる。	③
17	格差是正のため正社員を増やすよう企業に言ってほしい。	②
18	共汗指標の「京都府の不本意非正規雇用比率」は京都市にすべきではないかな。	③
19	不本意非正規の正規化、安定雇用の推進は、大企業と行政機関が率先して行うべき。	③
20	「不本意非正規」と限定しているが、「不本意」に限定せず、非正規雇用をなくすべきであり、市職場から率先して非正規雇用をなくすべき。	③
21	「京都府の不本意非正規雇用比率」の目標は記載するべき。目標値を明記することで、市民が意見しやすく、政策評価をしやすい。	①
22	不本意非正規雇用を残すことは購買力の低下した状態を残すことであり、定住政策にも影響が懸念される。特に大学など研究機関では深刻であり、頭脳流出や少子化の一因にもなっているのでは。国立大学の運営費交付金を 2001 年以前の状態に戻すよう、「オール京都」で文科省や財務省に強く要求すべき。	③
23	不本意非正規雇用比率の改善に取り組んでいきたい。	②
③ 京都の魅力発信力の強化 (4 件)		
24	もっと文化・観光施設の情報を発信し、来客数増につなげるべき。	①
25	「京都」というアイデンティティを日本や世界にアピール出来るかということが重要である。また、「入洛」をキャッチフレーズとして使ってみるのも面白いのではないかな。	①

26	京都へ観光に来た人にもっと京都の良さを伝え、京都に移住したくなるようなアピールを強く行うのはいかがか。	①
27	国内の市場規模が一番大きい東京に拠点を設け、プロモーションを更に強化し、伝統産業をはじめとした京都の魅力を発信すべき。	①
④ 中小企業・伝統産業・商業（16 件）		
28	中小企業の様々な事柄などを若い世代へ広めていくことが必要なのではないか。	②
29	チラシ配布などにより、中小企業の良い面をもっとアピールすべき。	②
30	「殿様商売」がまだ残っている。	③
31	新しい取組を導入できない中小企業をどれだけ多く巻き込み、成長戦略の推進や産業の活性化などにつなげるかが大切である。	①
32	「中小企業支援の拠点となる京都経済センター(仮称)の整備」は中小企業の振興につながることを期待できる。	②
33	伝統産業を守るためにお金をかけることは疑問。市場経済で淘汰されるなら、従うべき。	③
34	京都は、本物の着物を着る、知る、そのような場所であるべき。レンタル着物が全て、京都のもの、西陣のものにし、着物産業が潤えばよい。	③
35	『「伝統産業の日」の全国拡大をはじめとした伝統産業の振興』は具体的に何をするのか示してほしい。	③
36	伝統産業課の職員が名札のストラップに「組ひも」で編んだものを使用されていたので、市役所全体で使用してはどうか。	③
37	京都は中小企業が中心で、かつ誇れる技術が集積しているが、学生には魅力等が知られていない。中小企業の魅力を発信し、学生と中小企業の接点を積極的に持つべき。	①
38	レンタル着物を着た観光客が増えているが、あのような着物が和文化と認識されることに警鐘を鳴らすべき。	③
39	買い物難民を支援してほしい。	③
40	商店街支援がまだまだ足りない。頑張っている商店街にもっと支援すべき。	①
41	まち・お店・ひとの縁結びを強化するという人と人との関係を強くしていくプロジェクトは大いに賛成。学生も関わらせてもらいたい。	①
42	空き店舗を開放して大学生が使用できるようにすることで、大学生の活動を支援し、「学生のまち京都」のブランド力を高めることができる。	③
43	「3 キリ」推進には食材の大量買いを抑制する必要があるが、道路事情が悪く、近所にスーパーがないので、食品スーパーの空白地域を解消すべき。	③
⑤ 農林業（18 件）		
44	未利用間伐材の需要拡大はしっかりと取り組んでいただきたい。	②
45	多くの野菜の種は輸入品なので、市民農家の取組では種とりもプログラムに入れるべき。	③
46	観光地の分散を図るためにも、歴史ある昔ながらの里山・田園風景が色濃く残る、大原や北嵯峨の更なる魅力を掘り起こし、周遊型・滞在型の観光戦略を推進してほしい。例えば、京野菜の収穫を体験し、温泉に浸かって京野菜を食し、宿泊できる観光プランなど。	①

47	どこの川の水でもそのまま飲めて、近所に井戸があったら、災害時の飲料確保は簡単である。市民農家の創出は水を大切にすることにつながって良いのではないかな。	②
48	京野菜の普及振興のための先導役となるような八百屋が増えてほしい。	②
49	農・林・水産業の5年ロードマップを示してほしい。	③
50	「森の京都」事業をしているのであれば、林業のPRを進めてほしい。「森とのふれあい体験」もどんどん進めていくべき。	②
51	建築用材や未利用間伐材の総合的な需要拡大という文面だけでは何を持って需要拡大とみなすか不透明である。従来と同じ方向なら、木の文化が息づくこの京都市という舞台で、バス停の木造化を進め、多岐にわたり展開するべきではないか。	③
52	市内産木材を使用したバス停を設置してほしい。	③
53	建材としてだけでなく、木材のカスケード利用の方法を産学公連携し開発すべき。盆地という地形や、北山杉などの国内有数の林業を前面に押し出し、さらに「京都市」という魅力を発信しつつ、建築用材や未利用間伐材の総合的な需要拡大に繋げるべき。	②
54	林業の現状を調査のうえ、待遇改善など対策を検討すべきではないか。	①
55	京都産木材の使用を後押しできるよう世界認証（森林認証）の取得等を支援できないか。	③
56	どの木が何に向いているのか、知りたい。駅とかバス停とか何かの待ち合いのイスも北山杉のベンチだったらいい。また、京都産の原木きのこは道の駅で見つけられないので、安く、地元のきのこが食べられると嬉しい。	②
57	木は環境に良いイメージがあるし、できるだけ木を使った方が良い。TSウッドハウスに入った瞬間に、木の良さを感じた。京都の木でTSウッドなどと同様の質と価格が実現できたら、産地産消が進むのではないかな。	②
58	木の家であったら、リフォームで環境負担の少ない材料を選ぶことが可能。木の家に関するワークショップがあれば良い。	②
59	TPPにより基準が緩和されたら食の安全が不安。食の自給率向上と食材の知識を身につけることが優先すべきではないか。	②
60	漁業振興策が示されていない。天然鮎を戻す事業を続けてもらいたい。	③
61	川床料理の定番である鮎は、全部が京都産ではないと聞いたので、地産地消できるよう、川に鮎を増やすプロジェクトを行ってはどうかな。	③
⑥ 事業環境整備（3件）		
62	「らくなん進都」をはじめとする市南部地域を中心とした企業誘致の推進を積極的に進めてほしい。	②
63	京都は企業目線でのインセンティブが、東京、大阪、名古屋などの都市と比べて相当弱い。民間企業を誘致するためには、限られた用地をどう活用すればいいのかな、他都市以上に工夫しなければならない。	②
64	企業誘致の効果が上がっていないので見直すべきではないか。	③

(7) 未来の担い手育成戦略

29 件

① 未来の担い手戦略全般 (3 件)		
1	プランを着実に進めてほしい。特に、「未来の担い手戦略」柱2①「生き方探究教育」は重要。子どもたちや若者が働くこと、そして、税や社会保険料の制度等の社会の支え手となる意味・意義を学び、「自覚」と「自らを守る知識という武器」を持って社会人となることを願っている。	②
2	出生率を上げるのは目的ではなく手段。目的はその地域の存続、そして才能あふれる人材の確保。後者を重視していることを評価したい。	②
3	大学を核にした地域連携・企業連携、留学生誘致の取組などをより一層推進していくという方針に強く賛同する。	②
② 大学のまち・学生のまちの更なる発展 (9 件)		
4	京都市が行っている様々な活動の情報を一括して学生に伝える仕組みがあれば良い。	②
5	学生が多い利点を活かし、市政に反映する仕組を整えていけば、社会福祉支出の中でも若年層への支出割合が高まり、それが少子化の改善につながり、長期的に市財政の健全化につながるのではないかな。	②
6	学生向けの施設が少ない。	③
7	無利子の奨学金制度を作ったり、学費補助などをしてほしい。	③
8	学生がずっと京都に住み続けたいと思うように、アパートの家賃を下げてはどうか。	③
9	学生が卒業後も京都市で暮らしたいと思える住みやすさが大切。	②
10	学生が卒業後も京都に居続けたいと思わせる取組があれば、人口減少の歯止めになるのではないかな。	②
11	大学間の交流が少ないため、学生同士が知り合える場所を作ってほしい。	②
12	京都市立芸術大学の移転について賛成である。	②
③ 留学生誘致 (7 件)		
13	アジアだけではなく、ヨーロッパからの留学生誘致にも力を入れるべき。	②
14	留学生も多いので、京都市で働きたいと思ってもらえるようなプログラムが必要。	②
15	留学生誘致のための支援策が少ない。	②
16	留学生への就職支援を増やしてほしい。	②
17	留学生誘致の取組は評価できる。高度人材の受入れは合理的。	②
18	留学生誘致の具体的な取組として、空き家などを利用した公営の格安シェアハウスを設置することを提案する。	③
19	留学生を呼び込むという点においては、日本の伝統文化の振興は素晴らしい。府立大の和食文化に関する授業や学部の創設は、時代の趨勢を捉えたものである。	②
④ 地域・社会との多様なつながりづくり (7 件)		
20	大学と連携して地方創生を行い、協力的な大学には交付金を交付してはどうか。	②

21	大学と企業・地域が連携してまちづくりを行い、学生が京都に拠点を置く中小企業や NPO に関心を持つ。さらに学生の柔軟な知恵を活かすため、関心ある学生が団体を形成し、長期的に地域連携や企業との連携に関わっていくことが望ましい。	②
22	大学と連携した取組をもっと進めるべき。	②
23	課題解決に、多くの大学があることを生かしてほしい。	②
24	青少年の活動拠点が東部地域に集中しているため、西部地域（西京，右京）にも青少年活動センターを設置するか既存施設を青少年が活用しやすい仕組みづくりをすべき。	③
25	「若い世代の市民意識(シチズンシップ)の醸成と市民参加の推進」のために高校・大学での疑似選挙体験をより活発化させることが有効だと思う。	①
26	幼少期から政治に興味を持つよう，小学校や中学校において，模擬選挙等を導入してはどうか。	①
⑤ ほんものの文化に触れ，学び，身に付ける取組（3 件）		
27	消滅可能性伝統産業リストをつくってテコ入れをしてはどうか。伝統産業を時代のニーズに対応させなければ，いつまでたっても補助金や関係者頼みで，さらに後継者も出てこないのではないか。職人側の意識改革も必要。	③
28	伝統産業などの職人の世界に人材が来ないのは，農業・林業と同様に，会社勤務に比べ厚生年金もなく，国民年金と国保しか用意されていないのも一因。法人組織を作って，その一員という形になればもう少し良くなるのではないかな。	③
29	和の文化体験の日という事業は素晴らしい。	②

(8) 子どもを共に育む戦略

97 件

① 子どもを共に育む戦略全般 (12 件)		
1	子どもと親と地域の笑顔があふれる「子どもを共に育む戦略」を推し進めてほしい。	②
2	「子どもを共に育む戦略」は強力的に推進してほしい。	②
3	子育て事業を最優先に取り組むべきであり、「子どもを共に育む戦略」を進めてほしい。	②
4	ボランティアとして障害のある子どもの放課後クラブをやっているが、「放課後の子どもたちの居場所づくり」が含まれる「子どもを共に育む戦略」を推進してほしい。	②
5	子どもたちの放課後の居場所の公的な施設はまだ充実していないので、「子どもを共に育む戦略」を推進してもらいたい。	②
6	子どもの教育・保育を充実してほしい。	①
7	安心して子育てできる取組が充実している素晴らしい計画である。	②
8	予算や教員の増員などに手のかけられていない公立校は不公平であり、効果のないイベントなどにお金を使うのをやめて、子どもの教育や医療、働く親の環境整備に予算をまわして重点的に行ってほしい。	③
9	子どもを産むことや若者にメリットがあると住みやすくなる。	②
10	合計特殊出生率の低さを改善すべき。	①
11	子どもの人口に大きな偏りがあるので、改善する事業が必要。	②
12	少子化対策として、これまでは子育てしやすい環境づくりに着眼してきたが、今後は子どもを増やす環境づくりに着眼してほしい。	①
② 保育所の充実 (29 件)		
13	保育園に入りにくい	③
14	11 時間開所に対する保育士の確保、安全確保や衛生関連に対する保育士等の確保、保護者対応等に要する保育士等の確保等、様々な部分で不足している事が多く、早急な対策が必要である。	②
15	希望する保育所に通えるよう、保育所の増設が必要である。	③
16	保育所及び学童保育を充実させるべき。	①
17	保育園や保育士の実情をきちんと把握するよう努めてほしい。	③
18	企業への保育施設設置を推進してほしい。	②
19	保育園などの児童施設を増やしていくことが大切だと思う。	②
20	保育園の数を増やしてほしい。	②
21	学校等の跡地は、不足している公立の保育所の整備に充てるべき。	③
22	保育園入所を待っているが、上の子と違う園に入所になるのは不安。園とのなれあいがないのは良いが、思いやりのある園に入れない。	③
23	自宅近くや職場近くの希望する保育所に入れず、職場復帰したくても出来ない従業員が私の会社にいるため、本当の待機児童ゼロに向けて更に整備を促進してほしい。	③

24	保育所待機児童数ゼロの継続を目指すに当たっては、児童と保育士の両方を支援していくことが、今後の課題ではないか。	②
25	保育所待機児童ゼロは、親の満足度の向上を、目標の一つとしても良いのではないか。	②
26	やむを得ず兄弟で違う保育園に通わせている場合もあるので、真の待機児童ゼロを達成してほしい。	③
27	保育所の待機児童ゼロは特に重要。	②
28	待機児童ゼロへの子育ての取組はとても良いと思う。	②
29	子どもを荷物のように詰め込んで「待機児童ゼロ」はとんでもないことだ。	③
30	無駄な予算を省いて財源を確保し、子どもの人口の多い西京区に市営の保育所を最低1箇所は作ってほしい。保育所の運営は、行政が責任を持って行うべき。	③
31	保育園の待機児童ゼロはうそなので撤回してほしい。京都市は府内の他市町村に比べて子育て支援施策が遅れており、子ども医療も高く子どもを病院につれていくのもいつもためらう。安心して子育てできて働けるまちにしてほしい。	③
32	保育所での待機児童ゼロの継続や、子育て世代向けに改修した住宅供給は、出生率の向上に有効な策だと思われる。	②
33	希望の保育所に入れず、待機している児童は一定いる。民間の保育士も不足している。保育所の民営化を見直すべき。	③
34	福祉が公的な責任を果たしていない。これ以上保育所の民営化はやめてほしい。	③
35	もっと病児保育や質の良い保育園運営にお金を回さなければ少子化は進むばかりである。	②
36	病児・病後児保育の取組を一層強力に進めてほしい。	②
37	産後の職場復帰を早め、安心して働けるようにするためにも、病児保育の更なる充実が必要ではないか。	②
38	人件費がかかるからという理由で、これ以上、保育園の民営化を進めるべきではなく、保育に公的な責任をきちんと持つべきである。	③
39	保育所など、子育て世代が子どもを預けて労働しやすい環境の充実を図ってほしい。保育施設、保育時間、病時保育など、まだまだ労働者にとって働きやすい環境とは言えない。	②
40	市立病院の保育園の運営についてきちんと対応してほしい。保育士の賃金を上げるとともに、解雇についても撤回すべきである。	③
41	保育士を増やすことが必要である。	①
③ 子ども医療費（6件）		
42	子どもの医療が向日市よりも悪い。	③
43	医療費について、中学3年まではいらない。小学6年まででよい。老人介護する側にまわせばよい。	③
44	千葉市のようにこども医療の窓口負担を増やして対象年齢を増やすといったことをやってほしい。	③
45	子どもの医療費をタダにしてほしい。	③

46	障害を持って生まれてきた子どもの医療費の負担額を軽減してほしい。	③
47	もっと子育てしやすい町にしてほしい。医療費を安くするのも、手続きなしにほしい。何をするときも手続きを簡素化してほしい。	③
④ 妊娠・出産・育児期の切れ目のない支援（17 件）		
48	乳幼児の無料健診の回数をもっと増やしてほしい。	③
49	親が 25 歳未満の子育て世帯へ補助金や手当の支給などの支援策を充実させてほしい。	③
50	子育て支援のために、補助金や地域コミュニティで協力するための取組にもう少し力を入れるべき。	③
51	出生率が低下傾向にある問題を解消するため、子育てに係る費用を一部支援するなど、家庭の子育ての支援を行ってほしい。	②
52	女性・男性ともに不妊治療に対する助成を行っていることは、とても良い。	①
53	電車やバスで、妊婦に席を譲るよう啓発が必要。	②
54	子育て支援は保育所も含めて、妊娠初期の支援まで手を広げていただきたい。	②
55	子育て支援の中でも、妊産婦や未就学児への支援を充実させることが、出生率増加につながるのではないかと。待機児童がいないことはその 1 歩であると思う。	②
56	若者や子どもの遊べるところがほしい。	③
57	空き店舗を子育て支援の場として活用できないか。	②
58	社会全体で子どもを育むという理念は、大切であるが、学童クラブの待機児童ゼロを継続するだけでなく、子どもたちが自由に遊ぶことのできる安全な公園を多く整備するべき。	②
59	子どもが増えている地域の公園整備を進めるべき。	②
60	子どもが無料で安心して遊べる公園がほしい。宝が池に集中している。	②
61	幼稚園（3 才）まで集まる場所はあるが、3 才から 6 才までの子が遊べる場所がほしい。	②
62	子育て世帯向けの市営住宅は所得制限が厳しすぎるので、公営住宅での供給は足りないのではないかと。また、子育て世帯への支援はもっと幅広く公平に行うべき。	③
63	子育て世帯向けの住宅には庭が必要不可欠。	③
64	市営住宅居住者への支援が手厚いのと比べ、自己所有住宅居住者への支援が薄い。また、高齢者に対する支援に対し、子育て世代への支援が少ない。さらに生活保護世帯への支援が厚すぎ、普通の世帯への支援がない。	③
⑤ 特別なニーズのある児童への支援など（10 件）		
65	児童養護施設に対する補助金を充実させるべき。18～25 歳程度までの人的支援も創出すべきである。	②
66	児童養護施設の増加が必要である。	③
67	発達障害のある児童・生徒については、生涯に渡る生育記録、支援記録、移行記録が大変重要。速やかに教育・医療・福祉など、関係機関の連携の下、記録書式の作成と配布普及を切望する。	②

68	身体的な理由のみならず，精神病等の精神的な理由により支援が必要な子どもの支援体制の充実やそれらの子どもが成長した際に，十分な働き場所を確保することが必要である。	②
69	特別なニーズを持つお子さん，そしてその家族へのケアも大切である。	②
70	放課後支援について，障害のある子ども＝放課後デイサービスと固定化しないよう，地域の児童館も大切にしてもらいたい。特別支援教育とともに，インクルーシブ教育の充実にも期待する。	②
71	ひとり親家庭に対する支援として，病児保育や夕方～夜間保育の充実，子どもの居場所づくり，長時間仕事に追われる人への支援を検討するべき。	②
72	子どもの貧困が問題となっているとニュースで見たが，例えば，子ども食堂のように食べることを支えるような取組が広がれば良いと思う。	③
73	京都市は，「子どもを共に育む戦略」におけるひとり親家庭に対する相談・支援機能の強化を達成すべく，父母の婚姻の有無に関わりなく，子どもが適切な養育を受けることができるように，下記施策を実施すべき。 ① 養育費及び面会交流に関する専門相談の創設 ② 離婚時における養育費及び面会交流の取決めにに関する参考書式等の交付 ③ 面会交流場所の提供や面会交流支援団体に対する経済的助成を中心とした面会交流実施に対する履行支援の充実	②
74	京都市は，「子どもを共に育む戦略」におけるひとり親家庭に対する相談・支援機能の強化を達成すべく，父母の婚姻の有無に関わりなく，子どもが適切な養育を受けることができるように，下記施策を実施すべきである。 ① 養育費及び面会交流に関する専門相談の創設 ② 離婚時における養育費及び面会交流の取決めにに関する参考書式等の交付 ③ 面会交流場所の提供や面会交流支援団体に対する経済的助成を中心とした面会交流実施に対する履行支援の充実	②
⑥ その他子育て支援（7件）		
75	人口減少対策のために，子育て支援に重点的に取り組んでほしい。	①
76	子育て支援施策を増やすべき。	①
77	子育て（教育）環境を市内で平等にしてほしい。	②
78	憲章や条例が出来ても関心が薄い人が多く，今後の5年間はより市民の関心が高まるようPRが大切だと思う。	②
79	子どもたちが夢を持てる社会にしてほしい。	②
80	子どもを産む女性が住みたいと思う町を作っていくことが様々な政策の視点として重要。	②
81	子育てに関して情報交換できることや，高齢者と若い世代が交流できるような環境が整っていれば，まち全体が良くなると感じた。また，子どもの意見を聞くのも良い。	②
⑦ 教育（16件）		
82	学校統廃合は地元・保護者主導と言われているが，教育委員会事務局の主導ではないか。	③

83	学校統廃合は地域ぐるみで子育てを支え合う風土づくりとして行われているわけではない。子どもを共に育む戦略 柱2に「⑥地域住民保護者が主導する学校統廃合の推進」を掲げるのはおかしい。	③
84	小中一貫教育の検証もせずに、さらに推進することは疑問。	③
85	いじめを見抜く教師の育成や教師が所属の学校に相談できない場合の窓口が必要。	②
86	学校などで戦争体験を子どもに伝えるべきではないか。	③
87	中高生が地元企業でインターンシップ体験をするなど、早い時期からキャリア教育を充実させることで、子どもたちの自信や地域社会への関心が高まるのではないか。	②
88	いじめの発生を完全に止めることは困難でも、フリースクール、自宅学習体制、児童館登校、小中学校卒業程度認定試験の普及、全ての高校に中高一貫クラスの創設等、起きてしまった後の対応ならありとあらゆる手段を講じることができるのでは。また、体育や体育系部活においても、理詰めで指導でき、心身に障害を負った子にも配慮できるきちんとしたスポーツクラブ（学校外）に教育委員会の経費で通わせるのも一法ではないか。	③
89	食育は大事。学校給食は米食の和食を中心にすべき。	②
90	子育て支援の一環として、中学校で給食を導入してほしい。	②
91	教育について、衣食住が自分達でできるようになるよう、生産性のある内容、取組を取り入れてほしい。	②
92	日本語をよく知ることも、グローバルコミュニケーション力を高めるためには重要。	②
93	東京都杉並区のように、放課後に塾の授業を安価で行ってほしい。	②
94	放課後・学カステップアップ事業等は役に立っている。新たな人との関係を築くこともできと思うので、今後も推進していくべき。	②
95	公共の自習室を増設してほしい。	②
96	私立中学・高校の授業料を免除、もしくは減額してほしい。	③
97	教育に予算を重点的に配分してほしい。	②

(9) 真のワーク・ライフ・バランス戦略

27 件

① 真のワーク・ライフ・バランス戦略全般 (6 件)		
1	全体を通じて、真のワーク・ライフ・バランスの重要性を訴える必要がある。この考え方が広がることで「京プラン」の多くの目標を達成できるのではないかな。	②
2	現代の社会は労働至上主義であり、競争社会である。そのおかげで物質的文化は大いに発展し、私たちの生活に役立っているが、肝心の精神的な発展は乏しいものがある。人々は生活にゆとりや余暇を持つことができず、自己実現など遠い夢の彼方へと追いやってしまっている現状である。それを打開するためにも真のワーク・ライフ・バランス戦略は現代社会における最も重要事であると思われる。	②
3	今後も良い風習を残しながら共に支え合える真のワーク・ライフ・バランスが実現できるよう、地域でも声をあげていきたい。	②
4	「真のワーク・ライフ・バランス」と「ワーク・ライフ・バランス」の違いは。認知度向上の効果は何か。	③
5	「真のワーク・ライフ・バランス」を重点戦略に掲げたのはよいことだが、認知度が 11%と低い現状で、地域活動や社会貢献活動まで求めるのは難しいのではないかな。	③
6	ワーク・ライフ・バランスのためにも食育のためにも、家事の評価を高める必要がある。	①
② 男性が主体的に家庭生活に関わる環境・気運づくり (3 件)		
7	重点プロジェクト 3「男性が主体的に～環境・気運づくりの推進」を掲げているが、男性の仕事の負担が減らない中で家事や地域活動への参画を求めるのは難しいのでは。	③
8	男性が主体的に子育てに参加できる仕組みを作ること、出生率の増加につながる。	①
9	「主体的に家事・子育て・介護などに関わることができる環境・気運づくり」は、男性だけに限定すべきでない。	③
③ 婚活支援 (4 件)		
10	結婚に要する費用を補助すれば未婚率は減少するのではないかな。	③
11	未婚の人が増えているため、婚活支援事業は良い。	②
12	「婚活」を行っても、価値観の多様化が進む現代で人口減少は避けられないと思う。	③
13	男女が出会える場を提供する企業があれば良い。	②
④ 働き方の改革 (11 件)		
14	企業に対して、子どもを理由にした遅刻早退や欠勤等を認めるよう行政指導していくべき。	③
15	子どもの教育にお金をかけることができるよう、子育て中の母親が安心して働ける環境の整備、中小企業への働きかけをしてほしい。	①
16	企業などに育児休暇を取得しやすい環境整備をするよう啓発すべき。	①
17	介護では、預けることができないため、仕事を辞めざるをえない。企業も理解して働きやすい環境にすることが大切。	①
18	残業が当たり前の風土をなくすことが必要。	②

19	企業子宝率という概念を導入し、子育て環境が充実している中小企業を紹介しては。	③
20	条例で育児や介護のために休みを取らなければならないと定めるべき。また、働き方を改革するには、企業だけではなく、個人に対しても補助が必要。	③
21	有給休暇をきちんと取らせれば、国際的に見ても多すぎる国民の祝日を削減することに繋がるのではないか。	③
22	時短勤務を許容できない中小企業に、働き方の多様化(フレックスタイムやシフト制、短時間勤務)への支援を検討するべき。	②
23	真のワーク・ライフ・バランス実現のために、労働基準法を順守していない企業の告発など、京都市が法を守る姿勢を示すべき。	③
24	真のワーク・ライフ・バランスの実現には、企業側の努力だけでは解決できないことも多々ある。勤労者側の意識の改革や、法的知識の普及・周知も必要ではないか。	②
⑤ 学びの場の整備 (3件)		
25	カルチャー教室とは異なる、良質で安価に提供される「学び直し場」がますます必要。それを求める人に焦点を当て、支援を進めてほしい。「学びのまち・京都」の強みである、多くの優れた人材・施設が、場面、場面で生かされ、更に発展していくことを願う。	②
26	図書館の土日の開館時間をのばしてほしい。	②
27	新しい図書館を建設するのは困難だと思うが、定期的に古くなった施設の修繕を行っていけば、より一層使いやすくなると思う。	①

(10) 地域コミュニティ活性化戦略

25 件

① きっかけづくり (11 件)		
1	「まちづくりカフェ事業」はどのようなことをするのか知りたい。	③
2	まちづくりカフェ事業で参加者がいつも同じにならないよう、区を超えた交流を行っても良い。	②
3	マンション住民を定着させるため、地元のイベントなどへの支援を充実させるべき。	②
4	マンション住民との交流は難しい。市民しんぶん区版での地域行事の紹介を充実させ、地域行事等を通じた地域の関係づくりを進めるべき。	②
5	マンション住民と地域住民との交流を促進してほしい。	①
6	近隣の人とのつながりを作れる施策が必要。	②
7	町内会、自治会への加入率アップを図るためには、ひととひとのコミュニケーションの場をいかに多く作り出すかが課題である。	②
8	自治会、町内会に入会しなくても日常生活に支障をきたさない。自治会、町内会の推薦を受けた市政協力委員が、非会員世帯に自治体サービス情報を届けなければならないことも、加入者の不公平感に繋がっているため、このシステムの整理と徹底が必要。	③
9	他府県から来た学生が地域と触れ合える行事があれば、定住するきっかけになる。	①
10	下宿学生と地域住民を結びつける政策があると相互理解が進み、苦情が減るのではないかな。また、京都のイメージアップにつながり、他県出身の学生がリピーターとなって京都を再訪するのではないかな。	①
11	大学や高校と連携し、若者がまちづくりに参加できる仕組みを構築すべき。	①
② 連携のしくみづくり (4 件)		
12	地域の良さを活かすため、市民との話し合いの場を設けるべき。	②
13	地域コミュニティの活性化により、まちづくりや防災力の向上を図るべき。	②
14	地域活動について、活動のための活動や生活を圧迫する活動は、本末転倒であるため、基本は、必要最低限の事業と活動可能な人員に絞って、非常時にはやむを得ず総動員するといったくらいが丁度いいのではないかな。	③
15	地域コミュニティの強化は必須だが、地域に委ねられているのが実態。実態を検討し、官民の隔たり等を改善する必要がある。	②
③ 場づくり (10 件)		
16	コミュニティを重視した空き家対策の事例をどんどん増やして、アピールしてほしい。	②
17	空き家の活用を進めるためには、近隣とのコミュニケーションが大事。	②
18	新築住宅の省エネ化よりも、中古住宅のリサイクル市場を確立し、空き家を減らすほうが課題である。地元の金融機関や交通事業者に委託し、空き家を託しやすい環境をお膳立てできないかな。	③
19	地域にコミュニティセンターを作してほしい。	③
20	地域にコミュニティセンターを作してほしい。	③

21	地域にコミュニティセンターを作ってほしい。	③
22	集合住宅の空き家は、住民の活動の場として活用してはどうか。	①
23	藤森学区には集合所がなく、空いている上下水道局伏見営業所を貸してもらえないか。	③
24	市民の協力で実現するであろう例 大学や高校と地域コミュニティ連携：空校や空家の活用，アクティブシニアによる民学交流，防災，防犯，ゴミ処理を地域で担っていくアクティブ町内会	③
25	地域における居場所づくりや活動の場づくりとして学校統廃合が行われてきたのではない。地域コミュニティ活性化戦略の柱３に「⑧地域住民・保護者が主導する学校統廃合の推進」が掲げられていることはおかしい。	③

① 高齢者や障害のあるひとなどへの福祉の充実（16 件）		
1	学校教育での障害者理解への取組が不十分である。障害者と一緒になって行う実習教育・ふれあい教育がより一層必要である。	②
2	福祉乗車証の利用範囲について北部山間地域を平等に扱ってほしい。	③
3	はあと・フレンズ・プロジェクトをはじめ障害のあるひとへの就労支援の更なる推進を期待する。	②
4	障害のあるひとへの 24 時間相談体制について、緊急時に相談しても、支援をつなぐ社会資源が不足しているため課題解決につながらない。運用が機能するか様子を見て、必要な社会資源の充足に予算を振り替えることも検討してほしい。	②
5	障害のあるひとが地域で安心して暮らせる施設の設置について、公的住宅の活用や、「空き家」の活用（マッチング）等に行政のリーダーシップを期待する。	②
6	福祉を充実させてほしい。健常者の人と障害者の人との交流のカフェみたいな取組があると良い。	③
7	福祉施策についての記載が全体量に比べて乏しい。	③
8	セーフティネット世帯への支援が優遇されすぎている。	③
9	生活保護受給者や生活困窮者は、それぞれのケースに応じた自立支援を行うべき。	③
10	「いのちとくらしを守る戦略」に高齢者福祉が入っているのか分かりにくい。	③
11	介護負担を軽減してほしい。	③
12	介護の偏見を解消するために教育委員会と連携し、各小学校区にあるデイサービスセンターで小学生に体験させ、理解を図ることを義務付けてほしい。また、通所したい利用者が断られることがないように、各小学校区にデイサービスセンターを建設してほしい。	③
13	高齢者向けの市営住宅を増やしてほしい。	②
14	若年世代に負担を押し付けるような高齢者施策は望ましくない。	③
15	市民の協力で実現するであろう例 医療介護の地域活動：急性期治療と在宅医療の橋渡し、介護見回りの地域参加。例えば「おたずね回覧板」や「町内かかりつけ医」など身の回りから。	③
16	人を呼び込める施設の招致が難しいなら、特別養護老人ホームなどを、逆に高齢者が安心して暮らせる場所にすればよいのではないかな。	③
② 健康長寿のまちづくり（15 件）		
17	ページ 51 柱 3 健やかに生きがいを実感できる・・・について、高齢者の集う居場所の確保、居場所づくりを進めてほしい。	②
18	健康を維持するため、地域ごとに運動する取組があれば良い。	②
19	健康づくりを目的とした、高齢者向けイベントを開いてみたら面白いと思う。	②
20	公民館で無料の体操イベントを行うなど、健康長寿のためのイベントを実施してほしい。	③

21	生涯スポーツを促進するために、運動場や体育館を増やし、セミナーなどを催して市民に運動する機会を提供するべき。	②
22	ネット教室やパソコン教室，SNS教室など，高齢者が楽しんだり生きがいを持てるような企画をもっと作ってほしい。	②
23	健康長寿の取組について，健康づくりに対してポイントを付与し，地域通貨としてお店で使えるようにしてはどうか。	③
24	高齢者が家に閉じこもらないよう，地域でのイベント・集会等に声をかけ合って参加し，健康長寿に結び付けたい。	②
25	老人が引きこもりがちにならないよう，リハビリセンター的なものを設置して，筋力アップの簡単な運動を手軽にできるようになればうれしい。	②
26	肝炎対策だけでなく，その他の疾病対策も進める必要がある。	①
27	介護福祉だけでなく，医療・看護のマンパワーの確保と質の向上が必要。	③
28	ニュータウンを医者や日用品が買えるお店を併設した施設に改修できないか。	③
29	若者と高齢者の共存が大切。	②
30	東山では医療機関が少なくなり不便。小児科もなく，リハビリも受けにくくなった。	③
31	動物性の食材については，どのように食材が作られているか注視した方が良い。	②
③ 人と動物との共生（3件）		
32	動物を飼う場合に，新たな課税や氏名等の登録を義務づけるなど，飼い主にもっと責任を自覚させる仕組みが必要ではないか。	③
33	「いのちとくらしを守る戦略」の柱3において，なぜ動物が出てくるのか，また，その具体的な取組が分からない。	③
34	動物に関する倫理観について，考える機会があっても良い。	③
④ くらしの安心・安全（23件）		
35	夜間の無謀運転や騒音を取りしましてほしい。	③
36	路上駐車規制をしてほしい。	③
37	烏丸通の路上駐車を改善してほしい。	②
38	路上駐車対策をしてほしい。	②
39	路上駐車対策をしてほしい。	②
40	路上駐車規制を厳しくしてほしい。	③
41	タクシーやバスの運転が荒い。	②
42	交通安全に力を入れてほしい。	②
43	地面に埋められた信号機や信号の時間が表示される信号機を導入してほしい。	③
44	地面に埋められた信号機や信号の残り時間が表示される信号機を導入すべき。	③
45	自転車と歩行者の安全を守ってほしい。	②
46	犯罪のない安心して暮らせるまちにしてほしい。	②
47	不審者が多い。	③

48	歩きながらや自転車に乗りながらタバコを吸う人がいなくなるよう取り組んでほしい。	②
49	路上喫煙禁止区域での取締を強化すべき。	②
50	細い通りでも歩きタバコを取り締まってほしい。	②
51	京都駅などで外国人観光客に対して路上喫煙禁止を周知すべき。	②
52	いのししやシカの農作物への被害対策をしてほしい。	②
53	シカは農作物を食害するだけでなく、下層植生を貧弱にすることで生物多様性に甚大な被害を与える。京都市やその周辺は他の地域よりもシカの密度が濃く、その影響か、他地域に比して「マダニ」の数が多いと感じる。今より真剣にシカの数減らしてほしい。	②
54	野菜の硝酸態窒素が問題になっており、市民が農にたずさわり、野菜の味を知るべきではないか。和食のレベルも高くなると思う。	②
55	一般人が入っていける日に市場で何か買いたいと思い、中央市場の近くの屋台の商品を手にとったが、添加物が入ったものばかりでがっかりした。	③
56	人口減少が予測されている中、空室の増加や賃貸率の増加により、管理不全マンションが増加する傾向にある。「支援の推進」とどまらず、マンション管理条例等を制定し、強制力を付したマンション（管理組合）登録制度を導入してはどうか。	③
57	分譲マンションの適切な維持管理のための支援においては、管理組合の登録制度により、最小限の情報を把握しないと難しいのではないかと。	③
⑤ 人権・ユニバーサルデザイン（8件）		
58	セクシュアル・マイノリティの人々を尊重するため、同性カップルを認める条例も必要。	③
59	引きこもりや不登校の子どものためにフリースクールなど、学校以外の場所を作してほしい。	②
60	引きこもりや不登校の子どものためにフリースクールなど、学校以外の場所を作るべき。	②
61	犬を連れた身体障害者の方が利用出来るお店がほとんどない。どんな人でも安心して来られるまちにしてほしい。	②
62	国内外の高齢者が観光し、過ごしやすいまちにするため、よりバリアフリー化を進める必要がある。	②
63	高齢者に住みやすいまちにするため、生活するうえでの段差などこれからの建物には、見えない高さについても規制してほしい。	③
64	公共施設のトイレには広いスペースを確保し、ユニバーサルベッドを必置してほしい。また、公共の建築物等に、車いすから降りて身体を延ばしたり休憩したりできるスペースを設置してほしい。	②
65	公共のトイレの表示を分かりやすくしたり、2個以上設置するなどの工夫をしてほしい。	③
⑥ スポーツ（3件）		
66	更にスポーツ振興に取り組むべき。	②
67	サッカーグラウンドや、フットサルコートを増やしてほしい。	③
68	京都マラソンの定員を増やしてほしい。	③

⑦ 防災対策全般（15 件）		
69	災害の際に安全な場所や危険な場所、避難すべき場所などを周知すべき。	②
70	いつ起こるか分からない自然災害にしっかり対応できるように準備しておくことが重要。	②
71	大地震の対策をしっかりと進めてほしい。	②
72	京都は狭い道が多く、建物も密集しているので、火災などにすばやく対応できることが必要。	②
73	「世界一安心・安全・おもてなしのまち京都」は、かなり困難な内容を目指しているのではないかと。京都の戦前に建てられた、何万軒もの古い町家は一般に耐震・防火的にはぜい弱で、延焼の危険性も高く、また、大地震がいつ起きてもおかしくないと言われている中で、どのようにして世界一安全なまちにしていく予定なのか。戦前の町家全てを対象にした耐震・防火改修の推進や市内全域を対象とした事前復興の仕組みの整備が不可欠では。	③
74	防災訓練とは呼ばない日常の中にも防災要素はあるはず。日常やっていることが「実は防災でした！」と言えるようになればよい。技術的な訓練自体は、家族や町内会とか小単位で実施しないと効果は期待できないのではないかと。	②
75	災害時のために、身近なもので火を起こせるものは何か考えるのも大切。	③
76	定期的に京都全体で災害を想定した訓練を実施すべき。	③
77	大規模災害発生時における避難については、地域住民の関心が高い。自主防災組織による防災行動マニュアルの住民への周知・徹底をお願いする。	②
78	各町内によって災害に対する備えがまちまちなので学区単位で備えるものを決めて用意するようにしたらよい。	②
79	自主防災会などへの女性の参画を促進してほしい。	②
80	京都市防災会議委員などに、女性が一定の割合で参画できるよう委員の推薦等の仕組みを整えるべき。また、京都市防災計画に男女共同参画推進課や男女共同参画センターが位置づけられてほしい。	③
81	避難所の場所は知っているが、避難訓練がされていないので実施すべき。	②
82	当方も福祉避難所としても努力していきたい。今後も防災・減災体制の整備や啓発に取り組んでもらいたい。	②
83	防災マップの作成や避難経路を示した標識を設置するなど、災害に強いまちにしてほしい。	②
⑧ 集中豪雨等への対策（8 件）		
84	大型の台風などに備え、市民の防災意識を高める必要がある。	②
85	異常気象下の、周辺の山地・鴨川・桂川への対策が必要である。	③
86	いのちとくらしを守る戦略の雨に強いまちづくりの推進について、ゲリラ豪雨への対策を進めてほしい。	②
87	避難所が水害時においても適切な場所に配置されているか検証すべき。	③
88	側溝のごみの浚渫（清掃）の頻度をもっと上げてほしい。	③

89	森林の斜面地に隣接して居住している市民が、安心して暮らせるように森林景観に配慮した斜面地対策を土地所有者が講じることができるよう市が支援する制度が必要。	③
90	雨水利用の促進を入れてほしい	③
91	洛西では数年前、大規模な水道管破裂事故があったので、老朽化したインフラの整備を徹底してほしい。	②
⑨ 国民保護など（6件）		
92	高浜原発の再稼働に反対することを明記すべき。原発に依存しない社会を作るには、原発の再稼働を認めないことが一番である。	③
93	原子力発電所の再稼働に反対する旨を明記すべき。	③
94	原子力は不要。	③
95	骨子の内容でも、平時の総合計画としては問題ないが、今後を見据え、特に国民保護の充実を図ることなどが必要である。	③
96	国民保護計画が脆弱ではないか。また、危機管理想定においても複合的な災害への想定が不十分である。	③
97	テロ対策をしっかりと考えておく必要がある。	③
⑩ 道路の整備・維持管理（10件）		
98	道路を広くし、高速道路も増やしてほしい。	③
99	京都は、信号も多く、車での移動が不便なので、もう少し走りやすい道にしてほしい。	②
100	交通の面で京都の地形は複雑なので、道路をもっと分かりやすく作り変えてはどうか。	③
101	請願が採択されたにもかかわらず「花脊峠のトンネル化」についての記述がない。	③
102	高速をのばしてほしい。	③
103	道路のミラーを増やしてほしい。	③
104	特に伏見区・山科区では、幹線道路の代わりに使われる生活道路を拡幅することが「災害に強いまちづくり」への最重要課題。建築基準法 42 条第 2 項に定められるセットバックを義務付け、違反者等には住民税・固定資産税・都市計画税を毎年倍に値上げすることが必要。	③
105	伏見区では踏切道が非常に多く、生活交通に支障をきたしている。立体交差化事業の補助金交付対象基準を大幅に引き下げるように国交省に強く要求すべきである。	③
106	細街路に車が入れず、一方通行も難しい。歩道が狭い。	②
107	老朽化している道路の補修をしてほしい。	③

3 改革編に関するもの

110 件

基本方針 1 参加と協働による市政とまちづくりの推進

25 件

1	行政は参加と協働の方向付けをし、市民は共感出来るところに、参加・協働する。「京プラン」をすばらしいものにしたい。	②
2	参加と協働による『共汗』の視点を重視していることは良い点である。市民と協働してまちづくりを行うことにより、市民が地域についての問題やまちづくりへの意識を高めることができ、より良い結果がもたらされると思う。ほかの団体と連携して行う取組方も素晴らしい。協働や連携を推進する仕組みづくりを具体的に計画してあるのも良い。	②
3	この実施計画と区役所のあり方の制度、市民参加推進計画が各々バラバラに検討されているので、それぞれをすり合わせて、より実効性のある内容にしてほしい。	②
4	国や市が事業をする場合、市民が置いてきぼりになることが多いと感じるため、市民と事業者等の参加と協働による「共汗」という視点は重要である。	②
5	対等な市民協働を行うべき。	②
6	市民参加を身近なものにしてほしい。	②
7	このような計画があることを市民が知れば、安心して京都に住み続けることができ、改善の意見も述べられる。今後も大学生に意見を求めるべき。	③
8	パブリックコメントで意見を提出しても、京都市は方針を変えずに、理解を求めるだけであり、形だけのパブリックコメントであると捉えられても仕方がない。本当にパブリックコメントを大切にしようと考えているのか疑問に思う。	③
9	各種審議会・協議会は、勤め人や学生の参加できない平日昼間にしか開催されておらず、現場の声が反映されないため、土日祝日に開催すべき。	①
10	パブリックコメントは、多忙な年末・年度末に募集されることが多いが、もっと落ち着いた時期に実施することが望ましい。	③
11	政策編は確実に進めてほしいが、市役所の事業は、特に現役世代にはまだまだ知られていない。区役所だけでなく、本庁の職員がもっと現場に赴き、市民や事業者と接し、効果を常に検証するなど、より良い事業の企画に取り組んでほしい。	②
12	意見を聞く機会を設けて積極的に市民の声を聞くようにしてほしい。役所の方から外に出て意見を集めるべき。	①
13	マイナンバー制度と市民サービスは必ずしも連携しないため、まちづくりのツールとして考えるべきではない。	③
14	マイナンバー制度は、「普通に、まじめに、忙しく生活している人の味方である」と思う。韓国の例から見ても、日本はマイナンバーに不安を抱きすぎではないか。	③
15	マイナンバー制度を活用することで、所得、納税額に応じて医療費の窓口負担を増減するというようなことが可能になるのか。	③
16	マイナンバーの導入による市民サービスの向上とは具体的にどんなことが行われるのか。他の自治体ではコンビニで住民票がもらえると聞いたが、京都市もそうなるのか。	①

17	マイナンバーカードが導入されれば、コンビニなどで住民票や戸籍、印鑑登録証明書の交付が可能になり、区役所を訪れる市民も減らせるので、窓口職員の削減や区役所バスシステムの整理にも道が開ける。ところが、京都市は非常に消極的である。全市一斉ではなく、出来る区から順次進めて行くべきであろう。	③
18	大阪のように都構想をめざすべき。	③
19	すべての施策で京都府との連携をより一層深めていただきたい。	①
20	京都のことは京都で考え、実行できるようにすべきである。	②
21	京都市に集中する観光客・宿泊客を近隣地域に拡散するようなPR等を自治体と協力してできないか。	③
22	近畿圏の広域連携により、コンパクトシティ、子育て支援と企業誘致をしてほしい。	③
23	周辺の市と共同で新たな価値を創造するのも有効。	②
24	人口減少及び少子高齢化社会を考えると、京都市は周りの都市と連携し、時には周りの都市を引っ張って進んで行くような視点も必要ではないか。	②
25	観光地と連携して、京都市民が京都を知る取組を進めるべき。	②

基本方針2 情報の公開・共有と行政評価の推進

16 件

26	「情報の公開・共有と行政評価の推進」は市民が理解しやすいよう進めてほしい。	②
27	市という公的部門が積極的に情報公開することはとても有意義である	②
28	市民しんぶんの「市長からの便り」の中に全く読めない漢字が使っており悲しい思いをした。	③
29	情報の管理・活用は外部と隔離されたオフラインでしたり、外部委託する場合は監査を定期的にしてほしい。	③
30	インターネットなどで京都の情報発信をしていくべき。	②
31	全国的に有名なテレビ番組で京都の良さを伝えてもらう。	②
32	京都のオリジナルキャラクターを作り、マンガやアニメなどで京都の良さを知ってもらう。	③
33	京都府内の情報をひとまとめに知ることが出来る情報サービスがほしい。	③
34	まち案内のパンフレット配布など、移住者や一人暮らしの学生などへの支援をしてほしい。	②
35	京都の取組の認知度をアップするプロジェクトはどうか。	②
36	京都の良いところを発信し、悪いところを改善していくべき。	②
37	京都市の取組を伝える、理解してもらうことが大切だ。メディアが収益面以外でも協力するとよい。	②
38	京都市の取組をもっと分かりやすく発信してほしい。	②
39	行政における文書の電子化についてより推進することが重要。	②

40	11 個もの重点戦略が挙げられ細かく決められているが、政策を実現させるために市民の方々に政策目標を知ってもらい、それが今後、どのような面で私たちに利益をもたらすのか、そしてどのようなことを日々の生活の中で気を付ければいいのかを理解してもらう必要がある。市内の様々な企業や学校に行き、講演会を開いたり、目につき易い場所に広告を張ったりすればよいのではないか。	②
41	雨天時のインターネット回線を改善してほしい。	③

基本方針 3 持続可能な行財政の確立

60 件

① 財政運営全般		
42	改革編をしっかり進めてほしい。ただ、職員削減が必ずしも立派なこととは思わない。	③
43	改革編に様々な効率化を図る取組が記載されており、大賛成。しっかりと実行してほしい。	②
44	財源確保について、出産、子育てをバックアップしつつ、その子の教育環境づくりも政策で取り扱っているのは非常に合理的。ただ、財源確保の方法として、改革編で挙げられている取組は既存のムダを省く点を重要視されているように思える。仮に若手が増えたとしても地方税の拡大が起これば、簡単に地方や東京に流れてしまうので留意が必要。	③
45	有料ゴミ袋の費用で展望台を造るぐらいであれば、借金の返済に充当すべきである。	③
46	福祉や税収増の取組はどちらも重要であり、バランスが大事である。	②
47	「中小企業をはじめとする企業の活性化」と「雇用と所得を増加させる」は重要。公契約基本条例を活用する趣旨を盛り込むべき。また、同条例に賃金条項を明記する方向へ条例を発展させる方向性も併せて盛り込むべき。	①
48	中小企業の活性化のために、公契約条例の活用及び賃金条項の規定に向けた公契約条例の発展を明記するべき。	①
49	中小企業の活性化を本気で考えているなら、公契約条例の活用を明確にするべき。また、賃金条項を盛り込むことを検討することも明確にするべき。	①
② 歳入分野における取組		
50	京都への移住、定住に着目するのはいいが、一部高級マンションの別荘化、マンション住民と地元民の地域に対する温度差など、かえって地域の活性化を阻害する事態が生じているため、別荘化には特別税を課すなどの対策が必要。	②
51	「課税自主権の活用」は重要。新税の導入の実現に向け積極的に取り組んでほしい。	①
52	観光客への課税など、京都市独自の税制度の導入も検討すればよいのではないか。	①
53	大学や寺社から固定資産税に代わる税金を得る方法はないか。	③
54	中小企業に納税してもらうには、企業自体の収益増よりも、外形標準課税の強化の方が意味があると思う。	③
55	中小・零細企業でも支払い能力がある事業者からはちゃんと税負担をしてもらうべき。	③
56	中小企業のほとんどが法人税等を支払っていないため、税収増にはつながらない。	③
57	大企業は内部留保が沢山あるのだから、法人市民税の超過課税を 12.1%まで引き上げるべき。	③

58	財源確保に向けた取組として法人市民税の税率を制限税率の 12.1%まで引き上げることを計画に盛り込むべき。	③
59	不動産の売却はすべきではなく、市民のアイデアを活かした、イベントや一時的な施設などに利用すべきである。	③
60	市有地の活用については保育所の整備に充ててほしい。特に市立保育所を増設してほしい。	③
61	用地の有効活用は大賛成。役所が保有しているよりも民間が活用した方がよりクリエイティブな活用が可能。	②
62	限られた土地を積極的に活用し、開発を行ってほしい。	③
63	私の学んだ小学校の跡地をホテルにしないほしい。学校は地域のもののはずだ。	③
64	学校跡地など、民間活力を生かすという題目で、市民財産を売り飛ばすとはひどすぎる。学校跡地を地域のコミュニティセンターとして整備、開放するべきだ。	③
65	学校跡地はもともと子どものものであり、子どもの意見を聞かずに大人がとりあげるべきでない。本当に統廃合してよかったのか検証する必要がある。また、現在跡地は地域住民に活用されており、ホテルや結婚式場にして地域住民の活用を狭めてもらいたくない。	③
66	統廃合され、子どもたちは学校が遠くなり大変。跡地なども地域のコミュニティの要として、防災の避難場所、日常的な会合、スポーツその他、地域に還元できるように、まずは市民の意見を聞いてほしい。	③
67	学校を統廃合して残った跡地を有効利用と称し民間に売ったり貸したりするのは、果たして住民の意向に添ったものなのかと疑問に思う。学校でのきめ細かい取組、学校制度の検証を含め、いろいろな立場の人（地域の人々も含め）を交えて学校制度、教育問題、市有地問題を何回も何回も討論して、そこに住んでおられる方々が十分納得できてから決めていくのが大事だと思う。高齢化していく中、歩いて皆が集える場所は重要になる。	③
68	学校跡地が「施設の統廃合等に伴い一定の役割を終えた土地等の売却、貸付」という項目の中に入っているが、役割を終えた土地等の表現は不適切である。また、事業者提案の拙速な決定と長期貸付による活用は決して地元住民のためにならない。中長期の見通しの中で住民参加のまちづくりとして取り組むべき。	③
69	アスニーで開催されるコンサートや講座について、受益者負担という考えもあるので、あとと少しくらい値上げしても大丈夫なのではと思う。	③
③ 人件費分野における取組		
70	区役所の受付は民間委託が可能だと思う。委託化することでサービスの水準が向上するはずである。	③
71	ごみ収集の委託化を進めるべきである。クリーンセンターをはじめ、施設運営は委託化が可能であると思う。	①
72	ごみ収集やクリーンセンターは委託化を進めるべきであるため、民間活力を積極的に活用してほしい。	①
73	クリーンセンターの効率化と書くならば、無駄な展望台を作るのはやめるべき。	③
74	民間委託化や効率化を更に進めてもらいたい。	②

75	大型施設の指定管理を外郭団体に任せているのは問題である。積極的に民間企業に委ねてほしい。	③
76	区役所の窓口業務についても民間の活用を推進すべき。	②
77	区役所の窓口やごみの収集業務は完全委託化を実現すべき。後期実施計画には踏み込んだ目標を掲げてもらいたい。	③
78	ごみ収集業務について、100%委託化を表明してもらいたい。	③
79	ゴミの収集を朝ではなく深夜に変更し、市職員による収集でなく民間委託する。	③
80	職員の給料が高い。	③
81	複雑な手当が多過ぎるので、廃止してもらいたい。	③
82	「市民所得の向上や中小企業の活性化、さらには税収増につなげる」ことは役人の給料を増やすことにつながるものであり、いい加減にしてほしい。	③
83	公務員や議員の数や給料が多すぎ。	③
84	職業として公務員の人気が高いのは、給料が他と比べて高いという世間の評価である。	③
85	正職員を減らして非正規を増やしても意味がない。また、きめ細やかな対応が必要な分野では、きちんと正職員を確保しなければならない。安易な民営化は市民サービスを低下させることになる。	③
86	職員数は、独立行政法人や外郭団体を含めた数字で目標値を定めるべき。議員定数も削減してもらいたい。	③
87	厚遇されている公務員制度を改めるとともに、職員数削減を前期を上回るペースで実施していくべき。	③
88	市の借金を減らすために職員数をもっと削減すべき。	②
89	京都市は職員数が多過ぎるのではないか。窓口業務を委託化すればもっと人員削減は可能はずである。	②
90	職員削減を進めるのはよいが、人口に対する職員数比率は人口が少ないほど高まるので、慎重な判断が必要ではないか。	③
91	職員数を減らさないでほしい。	③
92	職員を減らすことで、1人あたりの負担が増加、過酷な状況になっていたり、市民サービスの低下を招いている。	③
④ その他歳出分野における取組		
93	ごみ回収を午前中までには全て終わらせてほしい。午後3時まで回収されずに道路の収集スペースに置き去りで町の外観も悪く、猫やカラスに荒らされる。	②
94	ウイングス京都の予算額を大阪の男女共同参画センターと同額程度にすべき。また、その他の外郭団体についても京都市から支払われているお金は減らすべき。	③
95	各種刊行物の見直しとあるが、配架依頼のチラシやパンフレットの部数が多く、余っているので、古紙が増える。送付前に部数を聞いてほしい。	③
96	市バスの敬老乗車証の値上げはしないでほしい。	③
97	敬老乗車証は、私にとって宝。せめて今の応能負担で続けてほしい。	③

98	存在意義の乏しい外郭団体や公共施設は、税金を浪費するのでやめてもらいたい。	②
99	期日前投票制度もある現在、公的経費削減の視点からも、投票時間を前後1時間ずつ削ってはどうか。他の必要な事業に回すべき。	③
⑤ 連結会計の視点を踏まえた取組		
100	京都市域は都市規模の割に交通事業者が多過ぎるため、乗継利便性向上より、事業者統合による乗継コストの低減を図ってはどうか。特に市営地下鉄は烏丸線は近鉄、東西線は京阪に運営を譲渡してはどうか。	③
101	民間セクターとの協働は財政的には良いことだが、施策を悪用していた事例などを聞くと手放しにはほめられない。（特に営利企業は）透明性や慎重さも必要。	③

基本方針4 一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と人材の育成

9件

102	市職員は残業が多く、ワーク・ライフ・バランスが実現できているのか疑問。まずは市職員が働きやすい制度を整えることが必要。	①
103	真のワーク・ライフ・バランスを高めるとあるが、実際、男性職員の育休取得率がどのようなものなのか気になる。	③
104	機構改革や組織の工夫による人員削減は限界であり、再教育をしっかりとやり、それでもダメなら退職させるべき。	①
105	自治会、町内会へ加入していない自治体職員には加入を義務付ける措置が必要ではないか。	③
106	市職員が地域活動に参加していないと思われる。	③
107	「きょうかん実践運動」の内容が再検討されるべきであると思う。	③
108	人材育成は重要。座学研修を減らして実地研修を増やすなど、受講したいと思わせる研修メニューにし、能力開発に積極的な市職員をもっと支援すべき。民間企業も参考にして、研修計画は抜本的に見直してほしい。	③
109	できるだけ本や資料を読んで、足を使って学ぶような研修の機会が増えたら良いと思う。	③
110	本庁、下部組織とも整備されているが、ピラミッドの高さ、タテ制の整然さ、出先組織の受け身体制について今後の方向性が要る。	③

4 その他

44 件

1	全市民に後期実施計画（骨子）の冊子を配布するべき。	③
2	6つの「京都の未来像」を掲げるに至ったプロセス・動機がほしい。	③
3	後期実施計画は取組等が詳細に明記されている。	②
4	市民目線のプランになっていない。全面的に見直すべき。	③
5	大学との協働や市民参加など、京都市ならではの計画となっているが、理解できない内容もある。	③
6	全体的に分かりやすく構成されている。	②
7	人口減少社会を大きな問題として捉え、それに対しての政策も理由と目的が明確にされており、優れている。	②
8	指標で数値目標を出しており、市民が評価しやすいので良い。	②
9	目標達成だけを追い求めるのではなく、効果を挙げることを重視してほしい。	②
10	計画の進捗をチェックする体制はあるのか。前期の進捗はどうか。前期と後期の連携・重複はあるか。また。予算の執行状況を報告すべき。	③
11	「京都ならではの」ということに縛られ過ぎではないか。	③
12	市としての財政面も含めた政策には、共感し応援したい。	②
13	「はばたけ未来へ！ 京プラン」の19ページに「主人公たるべき市民」と記載されているが、「主人公である市民」に修正してほしい。	③
14	市民に寄り添った、子どもから大人まで、みんなが笑顔になるような政策や事業を行うことが大切である。	③
15	行政の姿勢はかなり改善されたと思う。官民がともに事業を進められれば、更に進展が図れると思う。	②
16	百年先を考えた京都のあり方、都市構造についての検討を期待する。	②
17	「企業や大学と協働した魅力ある公園利活用の促進」、「地域・企業・大学との連携」、「大学等との連携による観光産業の担い手の育成」は、大学が多いという京都の特色を生かした良い事業だと感じた。	②
18	『京都の「ほんもの」』という言葉が少しわかりにくい。文化的な建造物や文化そのもののことを表すのだろうか。	③
19	都市格向上のため、「歩いて楽しいまち・京都戦略」や「歴史・文化都市創生戦略」は着実に進めてほしい。東京オリンピックに向けたPRを意識しすぎず、次の世代のために着実に計画を進めてほしい。	②
20	京都市は地元の意見を聞かず、市民の暮らしを見ることもなく、外資系企業、富裕層の方向ばかりを見て市政を進めた結果、ビルが立ち並び大文字も見えなくなり、また、商店街も閉店ばかりになり、顔を合わせての買物もできなくなった。	③
21	イベントなどによる活性化を行うべき。	③
22	古い建物や文化は重要だが、新しいものも増やしていくべき。	③

23	カーシェアリングやルームシェアリングなど、限られた資産を有効活用できる事業を充実すべき。	③
24	京都市の水道水はおいしい。これからもおいしい水を届けてほしい。	③
25	今後も京都の持つ魅力を「京都ブランド」として継続するとともに、住民にとっても暮らしやすいまちとなるように市政を頑張っていただきたい。京都の持つポテンシャル、魅力を今後も日本はもとより世界に向けて発信して行ってほしい。期待している。	②
26	京都市基本計画（京プラン）の前期総括を踏まえて後期プランはよくまとめている。前期実施計画の達成率は100%近くだが、更に客観的な実態評価が必要。改めて京都のよさ、課題について再認識した。PDCAで是非実践してほしい。ただし、京都の人自らがもっと外を見つめるために出向き、他の意見を求めるべきと考える。「文化庁」「リニア」の誘致は、「京都のため」だけでなく、関西のため、わが国土のためを考えてほしい。	②
27	京プランが確実に実現できれば夢と希望のある京都になると思う。前期からなくなったり縮小された取組はあるのだろうか。	③
28	キャッチコピーであふれたプランではなく、体系を整理してできるだけシンプルで市民に分かりやすいプランとすべき。	③
29	高度成長期の希望にあふれたプランと違って、これからの計画や施策は、市民に犠牲や負担を強いる可能性を伝える必要がある。そのためにも、プラン策定のためには市民を含めた徹底した議論が必要。	③
30	市民生活実感調査において、政策重要度が高く、生活実感が低い分野に力を入れていくべき。	③
31	意見が少ない場合（700件未満）は、再度パブリックコメントを実施すべき。	③
32	各分野別計画や指針に掲げた内容が違う方向に進んでいる。後期実施計画では、それらの計画や指針を包括したり、集約する仕組みづくり、あるいは部局間連携の仕組みづくりを盛り込むべき。	③
33	具体的に、誰が、いつまでに、どのように実行するかを明確にしないと、絵に描いた餅になってしまうと思う。	③
34	祭りや駅など公の場で拡声器を使って注意を呼びかけ続けるのをやめてほしい。観光に来られた人に印象が悪い。	③
35	市民参加が可能なもの、未来づくり事業を体験できるという視点で、多数の京プランの実施の優先順位をつけてはいかがか。	③
36	子どもから若者・大学生までの若年層にお金を使ってほしい。老人など立場的に優遇を受ける人に使いすぎている。	③
37	JR稲荷駅西側の改札設置、JR藤森駅東側の道路整備・区画整理、大岩街道の歩道整備などは早急に事業着手すべきである。	③
38	歩行者が休憩する場所が整備されていない。実際に歩く人の視点に立った計画にすべき。	③
39	平和になってほしい。	②
40	字が小さい。	③

41	上・下水道施設の維持・管理や、家庭ごみの収集・焼却処理，エコ学区などの地元啓発，市民しんぶん配布や市政協力委員制度など，技術のみならず管理手法や仕組みづくりなどの市が保有するノウハウは，海外の途上国にとって大変得がたいものである。京都市の国際技術協力の推進を実施していくべき。	②
42	他府県にも京都のような観光スポットを作ってほしい。	③
43	どの重点戦略も，現在京都が抱えている問題を解決するためのものであったり，京都の魅力をさらに全国，世界に発信していくための方策といった，未来を見据えた希望あるものであり素晴らしい。	②
44	市役所を建て替える際に，レストランやコンビニ，カフェを設置してほしい。また，地下鉄と市役所を直接つないでほしい。	③